

Arcserve UDP 8.x

Microsoft 365

バックアップ & リストア ガイド

Exchange Online

SharePoint Online

OneDrive

Teams

Rev2.0

目次

Arcserve UDP 8.x - Microsoft 365 バックアップ & リストア ガイド

目次.....	2
1. はじめに	4
1.1 本ガイドの目的	4
1.2 必要なコンポーネント	4
1.3 構成例.....	5
2. Exchange Online のバックアップ & リストア.....	6
2.1 前提条件.....	6
2.2 バックアップ プランの作成.....	7
2.3 バックアップデータのリストア	20
3. Share Point Online のバックアップ & リストア	25
3.1 前提条件.....	25
3.2 バックアッププランの作成.....	26
3.3 バックアップデータのリストア	38
4. OneDrive のバックアップ & リストア	43
4.1 前提条件.....	43
4.2 バックアッププランの作成.....	44
4.3 バックアップデータのリストア	60
5. Teams のバックアップ & リストア.....	66
5.1 前提条件.....	66
5.2 バックアッププランの作成.....	67
5.3 バックアップデータのリストア	70
6. 製品情報とトレーニング情報、および問い合わせ先	73

改訂履歴

2021年6月 Rev1.0 リリース 初版

2021年9月 Rev2.0 リリース Arcserve UDP 8.1 リリースに伴うバージョン表記変更等

すべての製品名、サービス名、会社名およびロゴは、各社の商標、または登録商標です。

本ガイドは情報提供のみを目的としています。Arcserve は本情報の正確性または完全性に対して一切の責任を負いません。Arcserve は、該当する法律が許す範囲で、いかなる種類の保証（商品性、特定の目的に対する適合性または非侵害に関する黙示の保証を含みます（ただし、これに限定されません））も伴わずに、このドキュメントを「現状有姿で」提供します。Arcserve は、利益損失、投資損失、事業中断、営業権の喪失、またはデータの喪失など（ただし、これに限定されません）、このドキュメントに関連する直接損害または間接損害については、Arcserve がその損害の可能性の通知を明示的に受けていた場合であっても一切の責任を負いません。

本ガイド中の製品名、サービス名、GUI、および仕様は、本ガイドのリリース時または改定時のものです。変更になる場合がありますので、予めご了承ください。

© 2021 Arcserve (USA), LLC. All rights reserved.

1. はじめに

1.1 本ガイドの目的

Arcserve UDP、Arcserve UDP Appliance、および Arcserve UDP Cloud Hybrid では、Microsoft 365（Exchange Online、SharePoint Online、OneDrive、Teams）のデータをバックアップし、データ損失を防ぐことができます。

本ガイドでは、これらのサービスごとのバックアップ/リストア手順を解説します。

1.2 必要なコンポーネント

Microsoft 365 のバックアップを行うためには、以下のコンポーネントをインストールしたサーバが必要です。Arcserve UDP Appliance および Arcserve UDP Cloud Hybrid にはこれらがすべて導入済みなので、意識してインストールする必要はありません。

- Arcserve UDP Agent for Windows
※バックアップ プロキシとして使用し、バックアップ プランの作成時に指定します。
- Arcserve UDP コンソール
- Arcserve UDP 復旧ポイント サーバ (RPS)

本ガイドでは、これらのコンポーネントはインストール済みとし、インストール手順を割愛します。インストール手順について詳しく知りたい方は以下の資料を参考にしてください。

Arcserve Unified Data Protection 8.x 環境構築ガイド - コンソール + 復旧ポイント サーバ：
<https://www.arcserve.com/wp-content/uploads/2021/04/udp-80-console-install-guide.pdf>

SharePoint Online のバックアップには Arcserve UDP 6.5 Update 3 以降が、OneDrive のバックアップには Arcserve UDP 7.0 以降が、Teams のバックアップには Arcserve UDP 8.0 以降が必要です。

本ガイドでは Arcserve UDP 8.0 の導入環境を使用します。

1.3 構成例

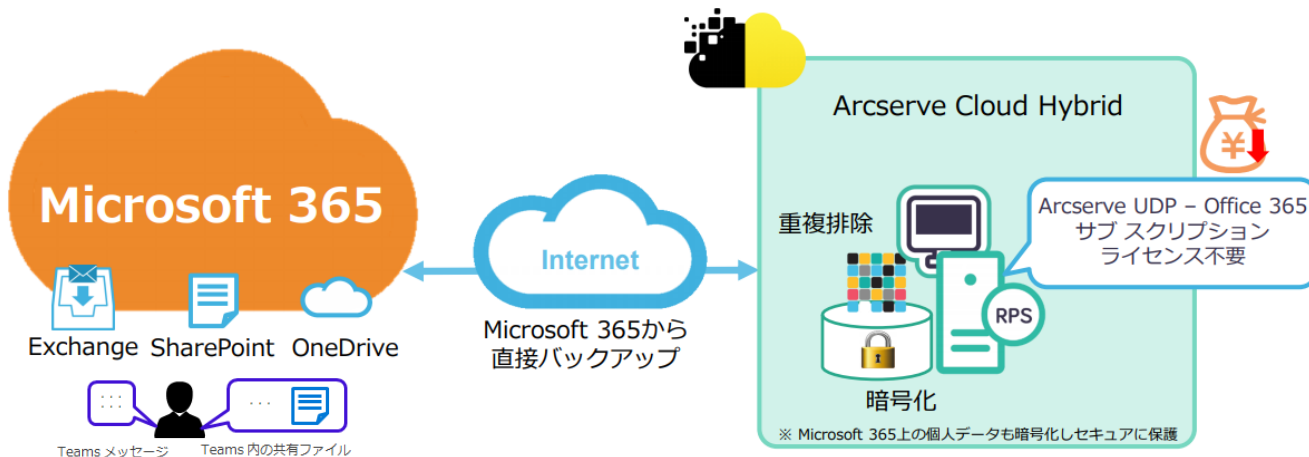
構成例 1 : Microsoft 365 をオンプレミスへバックアップ

オンプレミス環境に導入した Arcserve UDP や Arcserve UDP Appliance を活用し、Microsoft 365 のバックアップを行います。Microsoft 365 以外のシステム（物理/仮想サーバ、クライアント PC 等）もまとめて統合的にバックアップの管理を行えます。



構成例 2 : Microsoft 365 を別なクラウドへバックアップ

Arcserve UDP Cloud Hybrid へインターネット経由で直接バックアップを行う事もできます。この構成ではオンプレミスにバックアップサーバを導入しないので、オンプレミスのインターネット回線に負荷をかけません。Arcserve UDP Cloud Hybrid には復旧ポイントサーバが導入されているので、バックアップデータは重複排除されて効率的に保管されます。



2. Exchange Online のバックアップ & リストア

Exchange Online には、たとえばユーザ メールボックス、共有メールボックス、メールが有効なパブリック フォルダ、会議室メールボックス、備品用メールボックスなど、受信者の種類が多数あります。

Arcserve UDP 8.x では、ユーザ メールボックス、共有メールボックス、会議室メールボックス、備品用メールボックス、メールが有効なパブリック フォルダがサポートされています。

2.1 前提条件

前提条件の詳細は、以下マニュアルをご参照ください。

Exchange Online のバックアップに必要なアカウントについてもマニュアルに記載されています。

https://documentation.arcserve.com/Arcserve-UDP/Available/8.0/JPN/Bookshelf_Files/HTML/SolG/default.htm#UDPSolnGuide/udp_prereq_exchg_online_backup.htm

2.2 バックアップ プランの作成

バックアップのプラン（設定）を作成します。

バックアップ プランには、Exchange Online のメール データ項目（メール、予定表の項目、連絡先など）のバックアップを実行するバックアップ タスクが含まれています。

タスクはそれぞれ、ソース、デスティネーション、スケジュール、および他のバックアップ詳細を定義するパラメータから構成されます。

【手順】

1. Arcserve UDP コンソール画面に [ユーザ名] と [パスワード] を入力してログインします。

2. [リソース] タブをクリックします。



3. 左ペインから、[プラン] に移動し、[すべてのプラン] をクリックします。
プランを以前に作成している場合、それらのプランが中央ペインに表示されます。



4. 中央のペインで [プランの追加] をクリックします。



5. [プランの追加] 画面が開きますので、任意の [プラン名] を入力します。



6. [タスクの種類] ドロップダウン リストで、[バックアップ： Office 365 Exchange Online] を選択します。

The screenshot shows the Arcserve Unified Data Protection dashboard. At the top, there are navigation tabs: ダッシュボード, リソース, ジョブ, レポート, ログ, 設定, and ハイ アベイラビリティ. Below the navigation, there is a section titled "プランの追加" (Add Plan). A dropdown menu is set to "M365 - Exchange Online". To the right of this dropdown is a checkbox labeled "このプランを一時停止" (Temporarily stop this plan). Below this, there is a "タスクの種類" (Task Type) dropdown menu, which is highlighted with a red box and contains the text "バックアップ: Office 365 Exchange Online".

7. [ソース] タブの [このプランを作成するための前提条件が設定されています。] にチェックを入れ、バックアップ プロキシ などの必要な情報を設定し、[追加] - [Exchange Online ソースの追加] をクリックします。

The screenshot shows the "タスクの追加" (Add Task) section of the Arcserve Unified Data Protection interface. The "タスクの種類" (Task Type) dropdown is set to "バックアップ: Office 365 Exchange Online". Below this, there are tabs for "ソース" (Source), "デスティネーション" (Destination), "スケジュール" (Schedule), and "拡張" (Extension). The "ソース" tab is selected and highlighted with a red box. Under the "ソース" tab, there is a checkbox labeled "このプランを作成するための前提条件が設定されています。" (Prerequisites for creating this plan are set), which is checked and highlighted with a red box. Below this checkbox is a note: "注: Exchange ノードを追加する前に、バックアップ プロキシを追加するか既存のプロキシを選択してください。" (Note: Before adding an Exchange node, please add a backup proxy or select an existing proxy). There is a "バックアップ プロキシ" (Backup Proxy) dropdown menu and a blue "追加" (Add) button. At the bottom, there are buttons for "追加" (Add) and "削除" (Delete). Below these buttons, there is a section titled "Arcserve UDP で保護するソースの選択" (Select sources to be protected by Arcserve UDP). A red box highlights the "Exchange Online ソースの追加" (Add Exchange Online source) button. To the right of this section, there is a label "保護されているユーザー" (Protected users).

8. Exchange Online の認証方法を選択します。

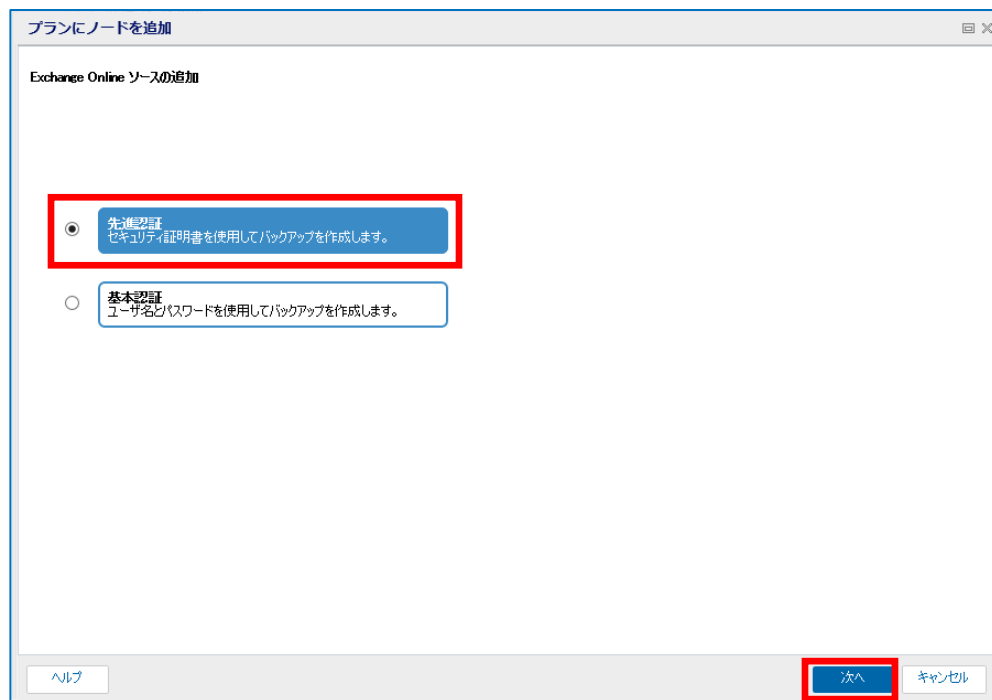
先進認証

先進認証をご使用いただくにあたり、以下リンクの「前提条件と考慮事項の確認」を確認し、Azure ポータル側での設定を完了させてください。

https://documentation.arcserve.com/Arcserve-UDP/Available/8.0/JPN/Bookshelf_Files/HTML/SolG/default.htm#o365_modern_authentication.htm

以降は事前準備が完了している前提で解説します。

[先進認証] にチェックを入れて、[次へ] をクリックします。



今回の手順では既存の証明書を使用します。[Azure ポータルにアップロードした証明書](#)を指定し、パスワードを入力して [次へ] をクリックします。

プランにノードを追加

Exchange Online ソースの追加

セキュリティ証明書の使用

ステップ 1

ステップ 2

新しい自己署名証明書の生成とダウンロード

証明書パスワード

証明書パスワードの確認

公開証明書

秘密証明書

既存の証明書の使用

秘密鍵証明書ファイル (.pfx) のサポート

証明書パスワード

ヘルプ

前に戻る

次へ

キャンセル

[参考]

この画面から公開証明書と秘密証明書を作成することができます。

パスワードを入力して赤枠をクリックすることファイルを保存することができますので、適切に保管してください。

プランにノードを追加

Exchange Online ソースの追加

セキュリティ証明書の使用

ステップ 1

ステップ 2

新しい自己署名証明書の生成とダウンロード

証明書パスワード

証明書パスワードの確認

公開証明書

秘密証明書

既存の証明書の使用

秘密鍵証明書ファイル (.pfx) のサポート

証明書パスワード

ヘルプ

前に戻る

次へ

キャンセル

任意のノード名と[アプリ ID](#)/ユーザ名情報を入力し、[接続] をクリックします。

プランにノードを追加

Exchange Online ソースの追加

❗ Exchange Online ノードの追加後に、ノード名を変更することはできません。

ノード名: M365-Exchange-Online

アプリ ID: [Redacted]

ユーザ名: [Redacted]

Arcserve UDP がこのアプリケーションに必要な Azure の役割と権限を設定することを許可します。

ヘルプ 前に戻る **接続** キャンセル

基本認証

[基本認証] にチェックを入れ、任意のノード名とユーザ ID/パスワード ([2.1 の前提条件](#)で用意したアカウントを使用します) 情報を入力し、[接続] をクリックします。

プランにノードを追加

Exchange Online ソースの追加

❗ 保護するすべてのメールボックスでバックアップ アカウントが **Discovery Management** および **ApplicationImpersonation** 役割グループのメンバーであることを確認します。詳細については、「[リソリューションガイド](#)」を参照してください。

❗ Exchange Online ノードの追加後に、ノード名を変更することはできません。

先進認証
セキュリティ証明書を使用してバックアップを作成します。

基本認証
ユーザ名とパスワードを使用してバックアップを作成します。

ノード名: M365-Exchange-Online

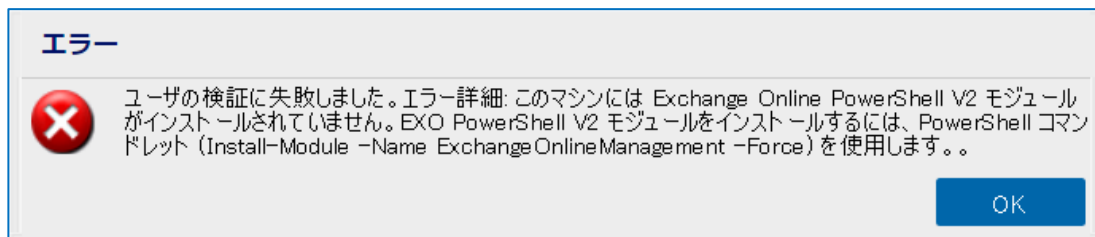
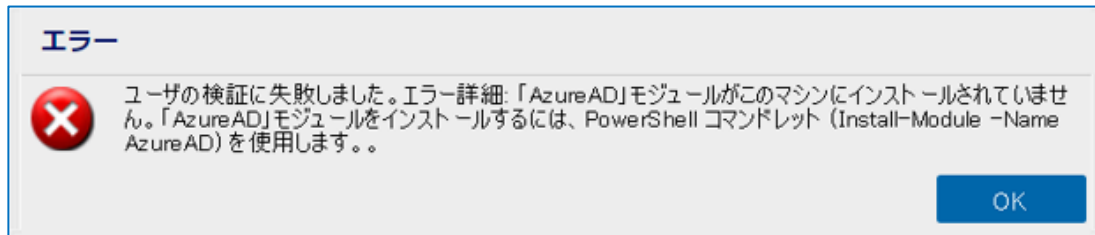
ユーザ ID: [Redacted]

パスワード: [Redacted]

ヘルプ **接続** キャンセル

注意事項 (先進認証・基本認証共通)

Azure AD、および Exchange Online Management モジュールがインストールされていない場合、[接続]をクリックしても以下のメッセージが表示されてユーザの検証に失敗します。



各モジュールは PowerShell を使用してインストールします。

[コマンド]

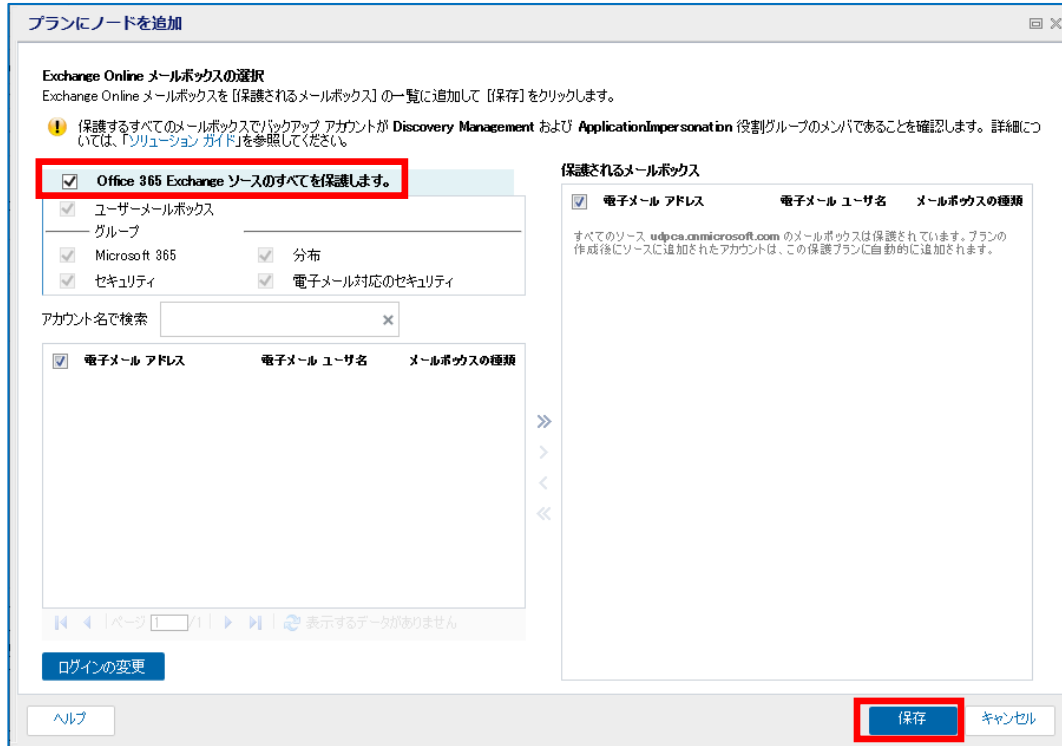
1. Install-Module -Name AzureAD
2. Install-Module -Name ExchangeOnlineManagement

コマンド実行時に「NuGet プロバイダーが必要」エラーが発生する場合は、PowerShell セッションで TLS1.2 の使用を指定する必要があります。

環境の TLS の状況を確認し、TLS1.2 が使用できるように調整してください。

9. ソースとなる Exchange メールボックスを選択します。デフォルトではすべての Exchange ソースをバックアップします。

今回はすべての Exchange ソースをバックアップするので、[保存] をクリックします。



10. Exchange Online ソースが追加されたことを確認します。



11. [デスティネーション] タブに移動し、復旧ポイントサーバの情報を入力します。

The screenshot shows the 'プランの追加' (Add Plan) configuration page. The plan name is 'M365 - Exchange Online'. The task type is 'バックアップ: Office 365 Exchange Online'. The 'ソース' (Source) tab is selected, and the 'デスティネーション' (Destination) sub-tab is active. The configuration includes:

- デスティネーションの種類: Arcserve UDP 復旧ポイントサーバ (selected)
- 復旧ポイント サーバ: win-agt
- データストア: UDP Backup
- パスワードによる保護:

12. [スケジュール] タブに移動し、バックアップスケジュールを設定します。

デフォルトでは、毎日 22 時に増分バックアップを行います

The screenshot shows the 'プランの追加' (Add Plan) configuration page, now on the 'スケジュール' (Schedule) sub-tab. The configuration includes:

- タイプ: 日次増分バックアップ
- 時刻: 22:00

タイプ	説明	日	月	火	水	木	金	土	時刻
<input type="checkbox"/>	日次増分バックアップ	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	22:00

13. [拡張]タブの設定に問題が無ければ、[保存] をクリックして、プランの作成を完了します。

プランの追加 M365 - Exchange Online このプランを一時的に停止

タスクの種類: バックアップ: Office 365 Exchange Online

ソース デスティネーション スケジュール **拡張**

Exchange Online の保護タスクを実行するには、バックアップ前およびバックアップ後のスクリプトがプロキシ サーバ上に存在する必要があります。

バックアップ開始前にコマンドを実行

終了コード: 0 ジョブを流し ジョブを中止

バックアップ完了後にコマンドを実行

ジョブが失敗した場合でもコマンドを実行

コマンド用ユーザー名:

コマンド用パスワード:

電子メール アラートの有効化

保存 キャンセル ヘルプ

14. 作成されたプランが、プランの一覧に表示されていることを確認します。

ダッシュボード リソース ジョブ レポート ログ 設定 | ハイ アベイラビリティ

プラン: すべてのプラン

プラン名	合計	保護ノード			ステータス
		成功	警告	失敗	
M365 - Exchange Online	1	0	1	0	展開: 成功 (1)

15. [手順 12](#) で設定したスケジュールに従い、バックアップされるのを待ちます。

【参考情報】

作成したバックアッププランは、手動でも実行することができます。

Exchange Online ノード からの実行

[すべてのノード] からバックアップ対象ノードを右クリックし、[今すぐバックアップ] を選択

The screenshot shows the Arcserve UDP console interface. At the top, there are navigation tabs: ダッシュボード, リソース, ジョブ, レポート, ログ, 設定, and ハイアベイラビリティ. Below this, the main content area is titled 'ノード: すべてのノード'. On the left, there is a sidebar menu with categories like 'ノード', 'プラン', 'デスティネーション', and 'インフラストラクチャ'. The main table displays a list of nodes with columns for 'ステータス', 'ノード名', 'VM名', and 'プラン'. One node, 'M365-Exchange-Online', is selected, and a context menu is open over it. The menu items include: 更新, 削除, エクスポート, プランの変更, エージェントへのログイン, 診断情報の収集, **今すぐバックアップ** (highlighted with a red box), リストア, 復旧ポイントをクラウドからダウンロード, 復旧ポイントをクラウドにアップロード, and 復旧ポイントをローカルディスクまたはネットワーク共有にコピー.

Exchange Online プラン からの実行

[すべてのプラン] からバックアップ対象のプランを右クリックし、[今すぐバックアップ] を選択

ダッシュボード リソース ジョブ レポート ログ 設定 | ハイ アベイラビリティ

◀ プラン: すべてのプラン

アクション | プランの追加

プラン名	保護ノード	ステータス
	合計	🟢 🟡 🛑
<input checked="" type="checkbox"/> M365 - Exchange Online	1	0
		🟢 展開: 成功 (1)

メニュー項目: 変更, コピー, 削除, 今すぐ展開, 一時停止, **今すぐバックアップ**

[今すぐバックアップを実行] ダイアログ ボックスが開きますので、バックアップタイプ を選択して、必要に応じて、バックアップ名を指定し、[OK] をクリックすると、バックアップジョブが開始されます。

今すぐバックアップを実行

増分バックアップ

フル バックアップ

バックアップ名: カスタマイズされた増分バックアップ

ヘルプ **OK** キャンセル

2.3 バックアップデータのリストア

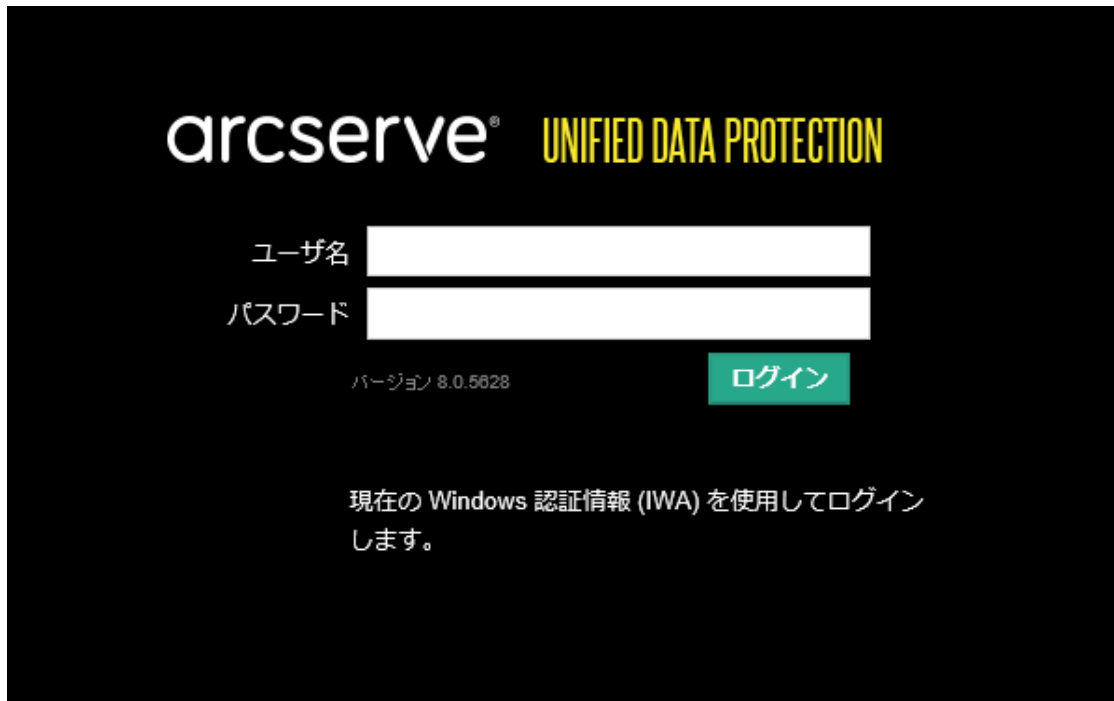
復旧ポイントから Exchange Online メール データをリストアできます。

復旧する日付を選択して時間を指定すると、その期間に関連付けられた復旧ポイントがすべて表示されます。

その後、リストアするバックアップ コンテンツ（アプリケーションを含む）を参照して選択することができます。

【手順】

1. コンソール画面に [ユーザ名] と [パスワード] を入力してログインします。



arcserve® UNIFIED DATA PROTECTION

ユーザ名

パスワード

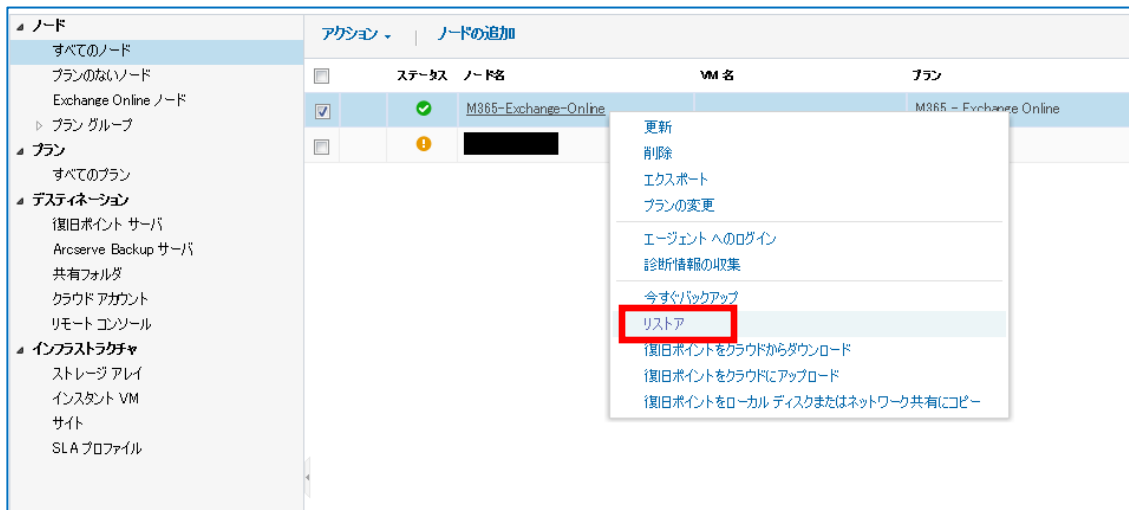
バージョン 8.0.5628

現在の Windows 認証情報 (IWA) を使用してログイン
します。

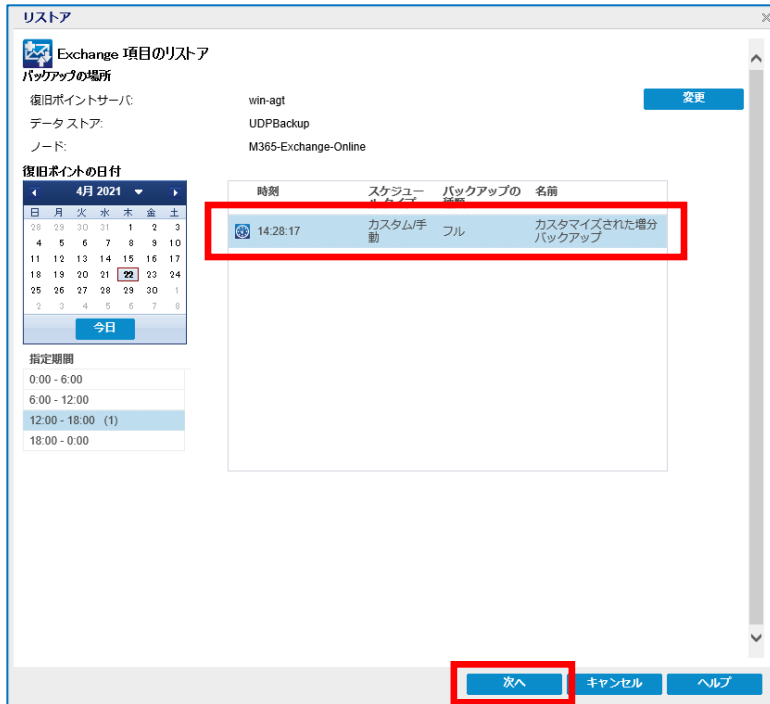
2. [リソース] タブをクリックします。



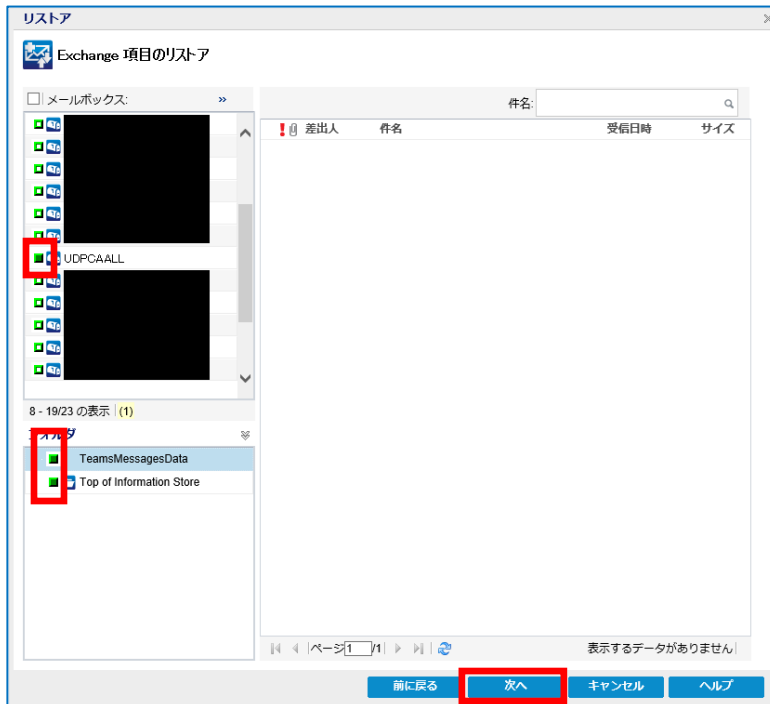
3. 左ペインから、[すべてのノード] に移動し、Exchange Online のノードを選択して、右クリックから [リストア] を選択します。



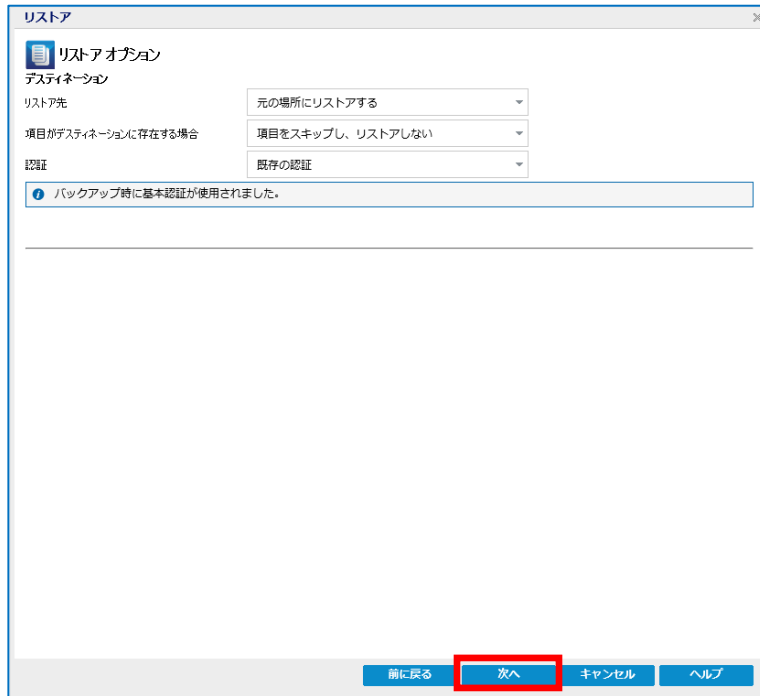
4. [Exchange 項目のリストア] ダイアログ ボックスが表示されます。
 復旧したい時点の復旧ポイントを選択し、[次へ] をクリックします。



5. [メールボックス] ペインで、リストアするメールボックスをクリックします。



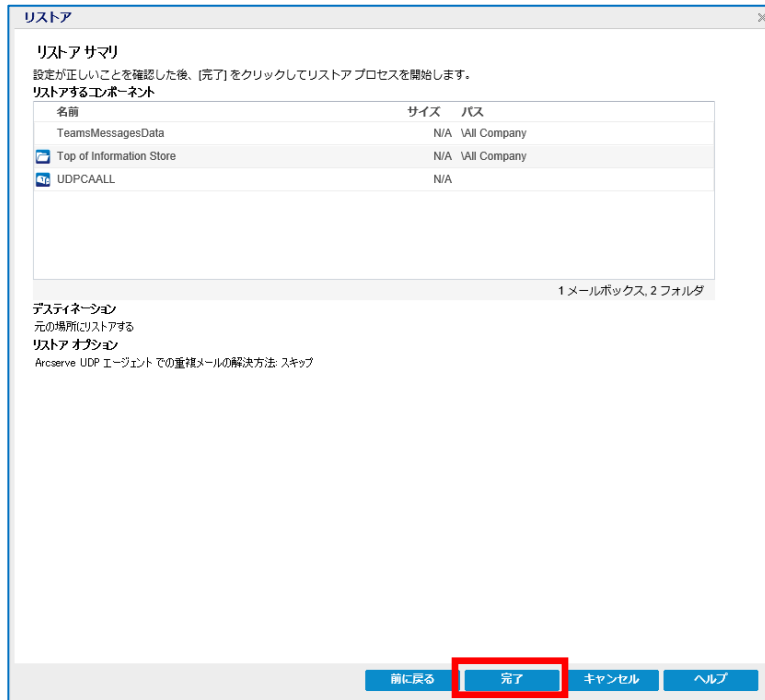
6. リストア先の設定をし、[次へ] をクリックします。



※ デフォルトではバックアップ時の認証を使用しますが、認証方法を変更する場合は、認証のプルダウンを [新規の認証] に変更し、先進認証 / 基本認証の認証情報を設定します。



7. リストアサマリを確認し、問題が無ければ [完了] をクリックすると、リストアジョブが開始されます。



8. バックアップジョブのステータスで、リストアが完了していることを確認したら、Microsoft 365 側でリストアしたデータが反映されているか確認してください。



リストアに関する詳細なオプション等については、以下マニュアルをご参照ください。

https://documentation.arcserve.com/Arcserve-UDP/Available/8.0/JPN/Bookshelf_Files/HTML/SolG/UDPSolnGuide/udpw_how_2_restore_exchgonline.htm

3.SharePoint Online のバックアップ & リストア

Arcserve UDP では Microsoft SharePoint Online サイトとリスト アイテムをバックアップおよびリストアできます。

3.1 前提条件

前提条件の詳細は、以下マニュアルをご参照ください。

SharePoint Online のバックアップに必要なアカウントについてもマニュアルに記載されています。

https://documentation.arcserve.com/Arcserve-UDP/Available/8.0/JPN/Bookshelf_Files/HTML/SolG/UDPSolnGuide/spoint_onln_bkup_plan_prereq.htm


3.2 バックアッププランの作成

バックアップのプラン（設定）を作成します。

バックアップ プランには、SharePoint Online ノードのバックアップを実行する [バックアップ: Office 365 の SharePoint Online] タスクが含まれます。

タスクはそれぞれ、ソース、デスティネーション、スケジュール、および他のバックアップ詳細を定義するパラメータから構成されます。

1. コンソール画面に [ユーザ名] と [パスワード] を入力してログインします。



arcserve® UNIFIED DATA PROTECTION

ユーザ名

パスワード

バージョン 8.0.5628

現在の Windows 認証情報 (IWA) を使用してログイン
します。

2. [リソース] タブをクリックします。



3. 左ペインから、[プラン] に移動し、[すべてのプラン] をクリックします。
プランを以前に作成している場合、それらのプランが中央ペインに表示されます。



4. 中央のペインで [プランの追加] をクリックします。



5. [プランの追加] 画面が開きますので、任意の [プラン名] を入力します。

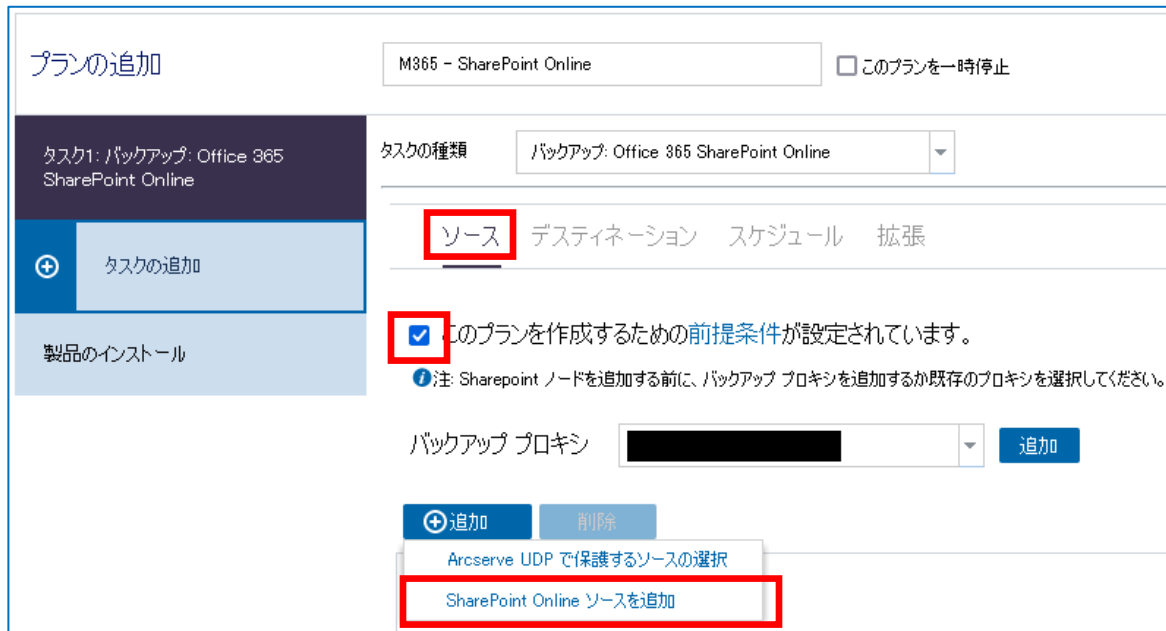


6. [タスクの種類] ドロップダウン リストで、[バックアップ : Office 365 SharePoint Online] を選択します。



The screenshot shows the Arcserve Unified Data Protection dashboard. The top navigation bar includes 'ダッシュボード', 'リソース', 'ジョブ', 'レポート', 'ログ', '設定', and 'ハイ アベイラビリティ'. Below the navigation, there is a section for 'プランの追加' (Add Plan) with a dropdown menu set to 'M365 - SharePoint Online' and a checkbox for 'このプランを一時停止' (Suspend this plan). A dark blue sidebar on the left contains 'タスク1: バックアップ: Office 365 SharePoint Online'. The main content area shows 'タスクの種類' (Task Type) dropdown menu with 'バックアップ: Office 365 SharePoint Online' selected, highlighted by a red box.

7. [ソース] タブの [このプランを作成するための前提条件が設定されています。] にチェックを入れ、バックアップ プロキシ などの必要な情報を設定し、[追加] - [SharePoint Online ソースの追加] をクリックします。



The screenshot shows the 'プランの追加' (Add Plan) configuration page. The 'タスクの種類' (Task Type) dropdown is set to 'バックアップ: Office 365 SharePoint Online'. The 'ソース' (Source) tab is selected and highlighted with a red box. Below the tabs, there is a checkbox labeled 'このプランを作成するための前提条件が設定されています。' (Prerequisites are set for creating this plan), which is checked and highlighted with a red box. A note below the checkbox reads: '注: Sharepoint ノードを追加する前に、バックアップ プロキシを追加するか既存のプロキシを選択してください。' (Note: Before adding the Sharepoint node, add a backup proxy or select an existing proxy). Below the note is a 'バックアップ プロキシ' (Backup Proxy) dropdown menu and a '追加' (Add) button. At the bottom, there are '追加' (Add) and '削除' (Remove) buttons. A dropdown menu is open, showing 'Arcserve UDP で保護するソースの選択' (Select source to protect with Arcserve UDP) and 'SharePoint Online ソースを追加' (Add SharePoint Online source), with the latter highlighted by a red box.

8. SharePoint Online の認証方法を選択します。

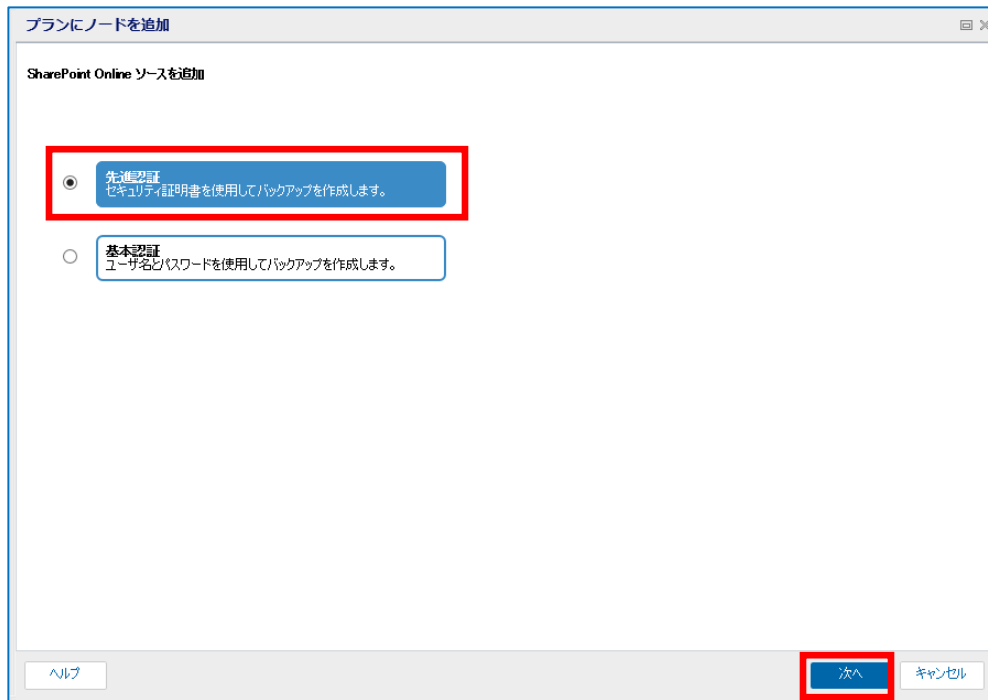
先進認証をご使用いただくにあたり、以下リンクの「前提条件と考慮事項の確認」を確認し、Azure ポータル側での設定を完了させてください。

https://documentation.arcserve.com/Arcserve-UDP/Available/8.0/JPN/Bookshelf_Files/HTML/SolG/default.htm#o365_modern_authentication.htm

以降は事前準備が完了している前提で解説します。

先進認証

[先進認証] にチェックを入れて、[次へ] をクリックします。



※ 以降の詳細な設定手順については、[Exchange Online](#) で解説した先進認証をご確認ください。

基本認証

[基本認証] にチェックを入れ、任意のノード名とユーザ ID/パスワード ([3.1 の前提条件](#)で用意したアカウントを使用します) 情報を入力し、[接続] をクリックします。

プランにノードを追加

SharePoint Online ソースを追加

① SharePoint Online ノードの追加後に、ノード名を変更することはできません。

先進認証
セキュリティ証明書を使用してバックアップを作成します。

基本認証
ユーザ名とパスワードを使用してバックアップを作成します。

ノード名
M365-SharePoint-Online

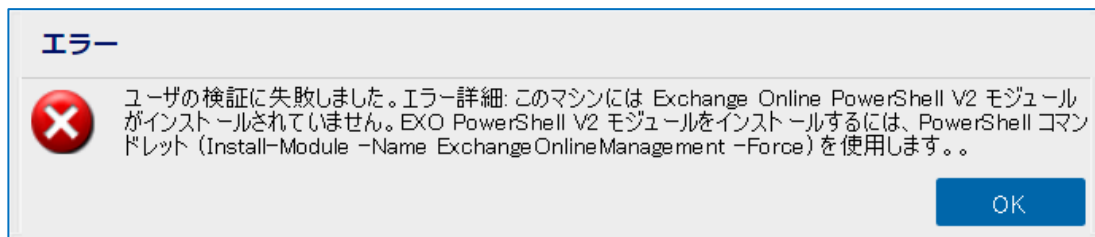
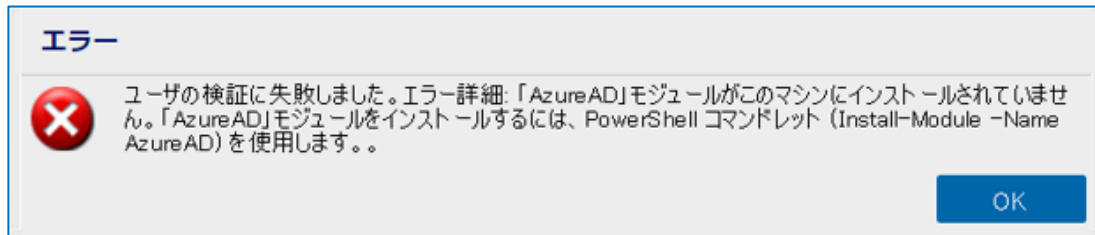
ユーザ ID
[Redacted]

パスワード
●●●●●●●●●●

ヘルプ 接続 キャンセル

注意事項 (先進認証・基本認証共通)

Azure AD、および Exchange Online Management モジュールがインストールされていない場合、[\[接続\]](#)をクリックしても以下のメッセージが表示されてユーザの検証に失敗します。



各モジュールは PowerShell を使用してインストールします。

[コマンド]

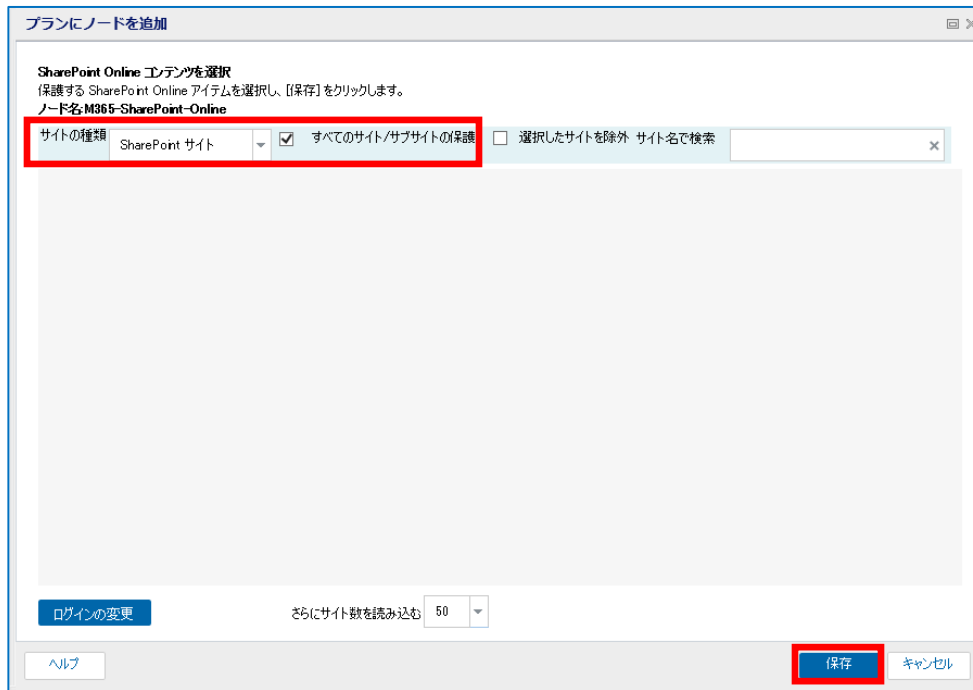
1. `Install-Module -Name AzureAD`
2. `Install-Module -Name ExchangeOnlineManagement`

コマンド実行時に「NuGet プロバイダーが必要」エラーが発生する場合は、PowerShell セッションで TLS1.2 の使用を指定する必要があります。

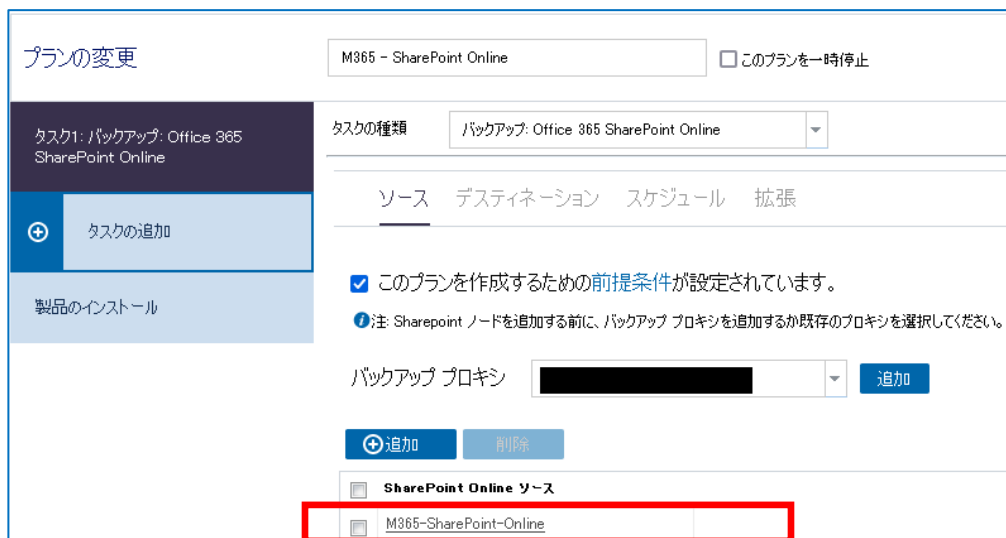
環境の TLS の状況を確認し、TLS1.2 が使用できるように調整してください。

9. デフォルトではすべての SharePoint Online サイト/サブサイトをバックアップします。

今回はすべての SharePoint Online サイト/サブサイトをバックアップするので、そのまま [保存] をクリックします。



10. SharePoint Online ソースが追加されたことを確認します。



11. [デスティネーション] タブに移動し、復旧ポイントサーバの情報を入力します。

プランの追加 M365 - SharePoint Online このプランを一時停止

タスク1: バックアップ: Office 365 SharePoint Online

タスクの種類 バックアップ: Office 365 SharePoint Online

ソース **デスティネーション** スケジュール 拡張

デスティネーションの種類 Arcserve UDP 復旧ポイントサーバ

復旧ポイント サーバ [Redacted]

データ ストア UDP Backup

パスワードによる保護

セッションパスワード

セッションパスワードの確認

12. [スケジュール] タブに移動し、バックアップスケジュールを設定します。

デフォルトでは、毎日 22 時に増分バックアップを行います

プランの追加 M365 - SharePoint Online このプランを一時停止

タスク1: バックアップ: Office 365 SharePoint Online

タスクの種類 バックアップ: Office 365 SharePoint Online

ソース デスティネーション **スケジュール** 拡張

タイプ	説明	日	月	火	水	木	金	土	時刻
<input type="checkbox"/>	日次増分バックアップ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	22:00

13. [拡張] タブの設定に問題が無ければ、[保存] をクリックして、プランの作成を完了します。

プランの追加

M365 - SharePoint Online このプランを一時停止

保存 キャンセル ヘルプ

タスクの種類: バックアップ: Office 365 SharePoint Online

ソース デステイネーション スケジュール **拡張**

SharePoint Online の保護タスクを実行するには、バックアップ前およびバックアップ後のスクリプトがプロキシサーバ上に存在する必要があります。

バックアップ開始前にコマンドを実行

終了コード: 0 ジョブを続行 ジョブを中止

バックアップ完了後にコマンドを実行

ジョブが失敗した場合でもコマンドを実行

コマンド用ユーザー名:

コマンド用パスワード:

電子メール アラートの有効化

14. 作成されたプランが、プランの一覧に表示されていることを確認します。

ダッシュボード リソース ジョブ レポート ログ 設定 | ハイ アベイラビリティ

プラン: すべてのプラン

アクション | プランの追加

プラン名	保護ノード			ステータス	
	合計	✓	!		
M365 - SharePoint Online	1	0	1	0	✓ 展開: 成功 (1)

15. [手順 12](#) で設定したスケジュールに従い、バックアップされるのを待ちます。

【参考情報】

作成したバックアッププランは、手動でも実行することができます。

SharePoint Online ノード からの実行

[すべてのノード] からバックアップ対象ノードを右クリックし、[今すぐバックアップ] を選択

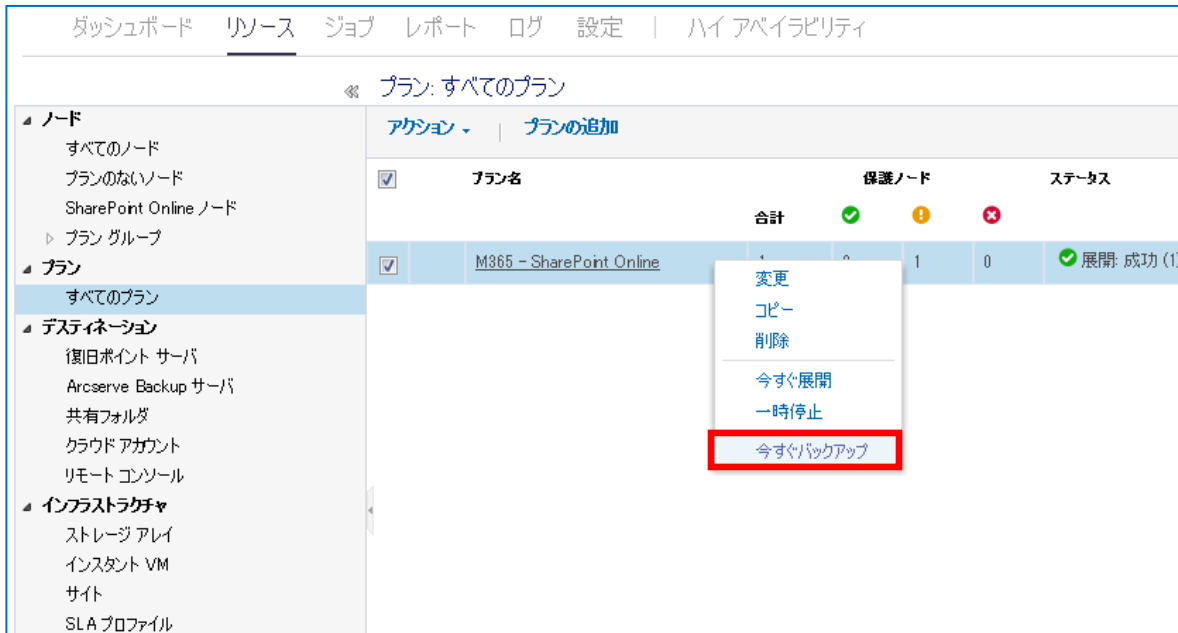
The screenshot shows the Arcserve UDP console interface. The top navigation bar includes 'ダッシュボード', 'リソース', 'ジョブ', 'レポート', 'ログ', '設定', and 'ハイ アベイラビリティ'. The main content area is titled 'ノード: すべてのノード'. On the left, there is a sidebar menu with categories like 'ノード', 'プラン', 'デスティネーション', and 'インフラストラクチャ'. The main table lists nodes with columns for 'ステータス', 'ノード名', 'VM名', and 'プラン'. A context menu is open over the 'M365-SharePoint-Online' node, listing various actions. The '今すぐバックアップ' (Backup Now) option is highlighted with a red rectangular box.

ステータス	ノード名	VM名	プラン
<input checked="" type="checkbox"/>	M365-SharePoint-Online		M365 - SharePoint-Online
<input type="checkbox"/>	[REDACTED]		

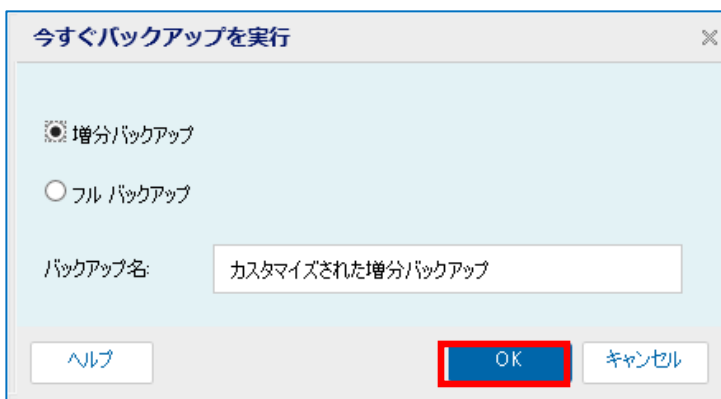
- 更新
- 削除
- エクスポート
- プランの変更
- エージェントへのログイン
- 診断情報の収集
- 今すぐバックアップ**
- リストア
- 復旧ポイントをクラウドからダウンロード
- 復旧ポイントをクラウドにアップロード
- 復旧ポイントをローカルディスクまたはネットワーク共有にコピー

SharePoint Online プラン からの実行

[すべてのプラン] からバックアップ対象のプランを右クリックし、[今すぐバックアップ] を選択



[今すぐバックアップを実行] ダイアログボックスが開きますので、バックアップタイプ を選択して、必要に応じて、バックアップ名を指定し、[OK] をクリックすると、バックアップジョブが開始されます。

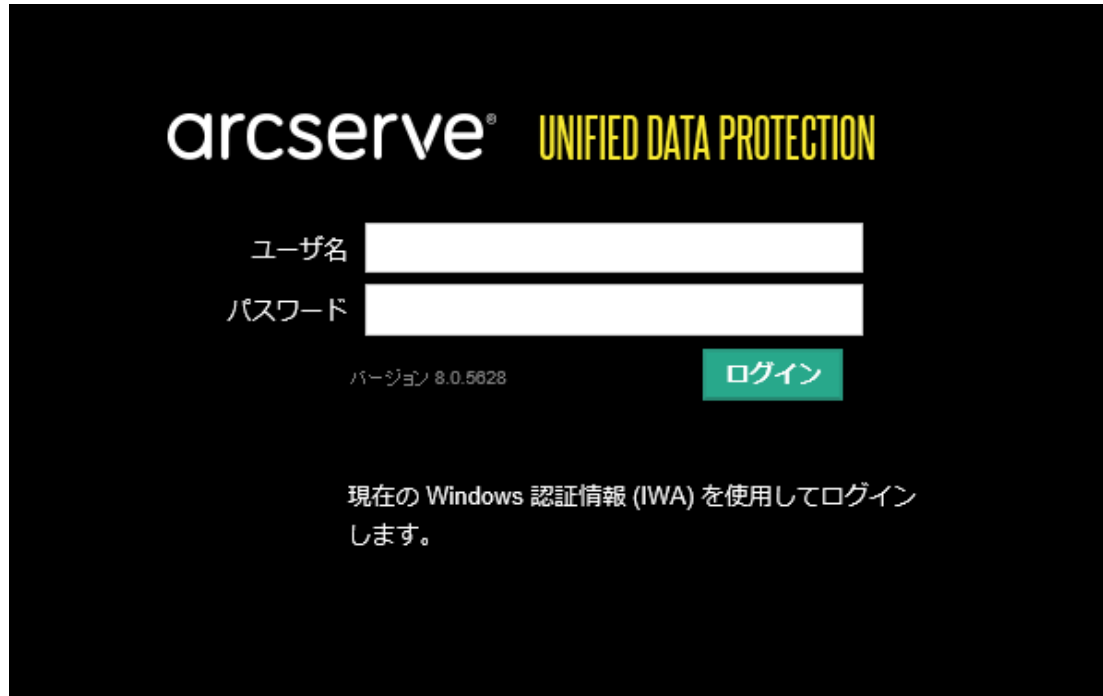


3.3 バックアップデータのリストア

SharePoint Online リスト/ライブラリまたはサイトのリスト アイテムをリストアできます。

【手順】

1. コンソール画面に [ユーザ名] と [パスワード] を入力してログインします。



arcserve® UNIFIED DATA PROTECTION

ユーザ名

パスワード

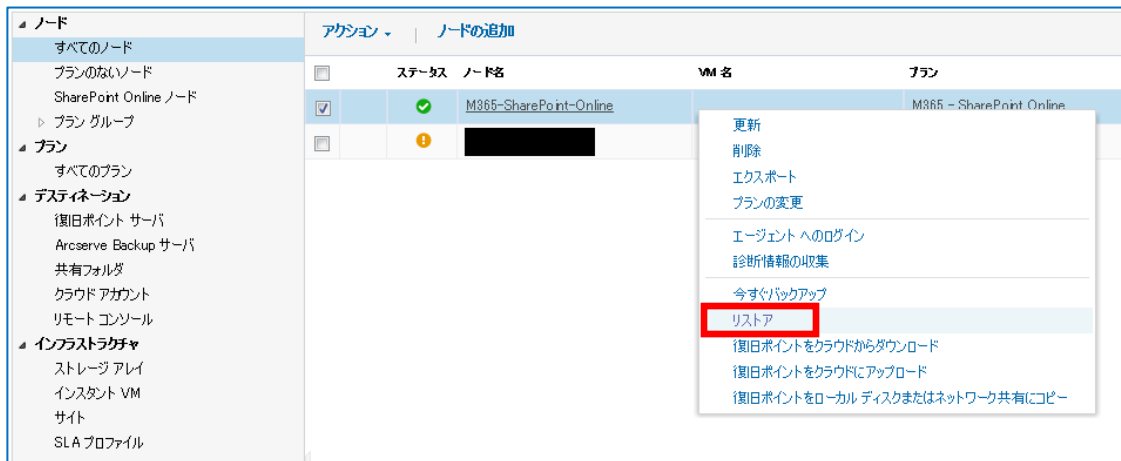
バージョン 8.0.5628

現在の Windows 認証情報 (IWA) を使用してログイン
します。

9. [リソース] タブをクリックします。

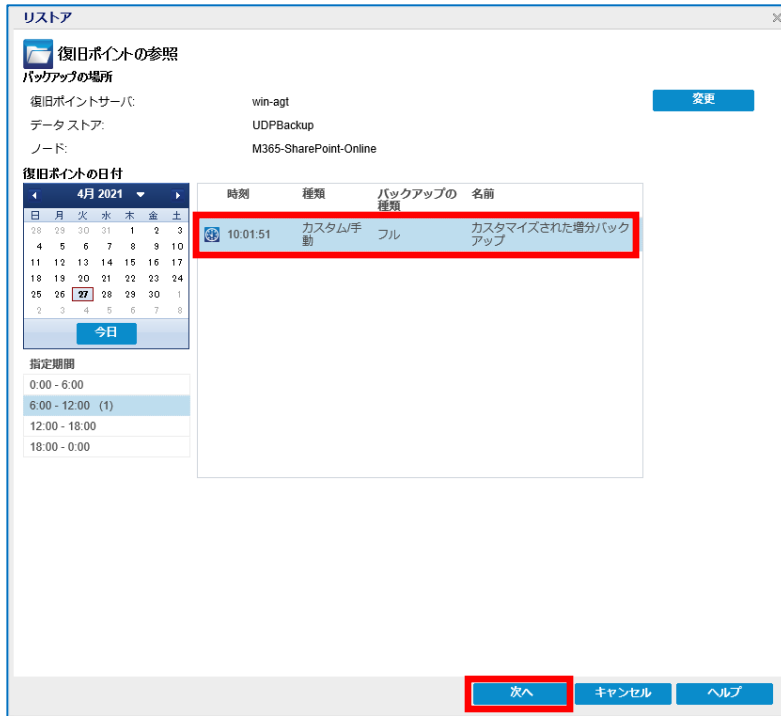


2. 左ペインから、[すべてのノード] に移動し、SharePoint Online のノードを選択して、右クリックから [リストア] を選択します。

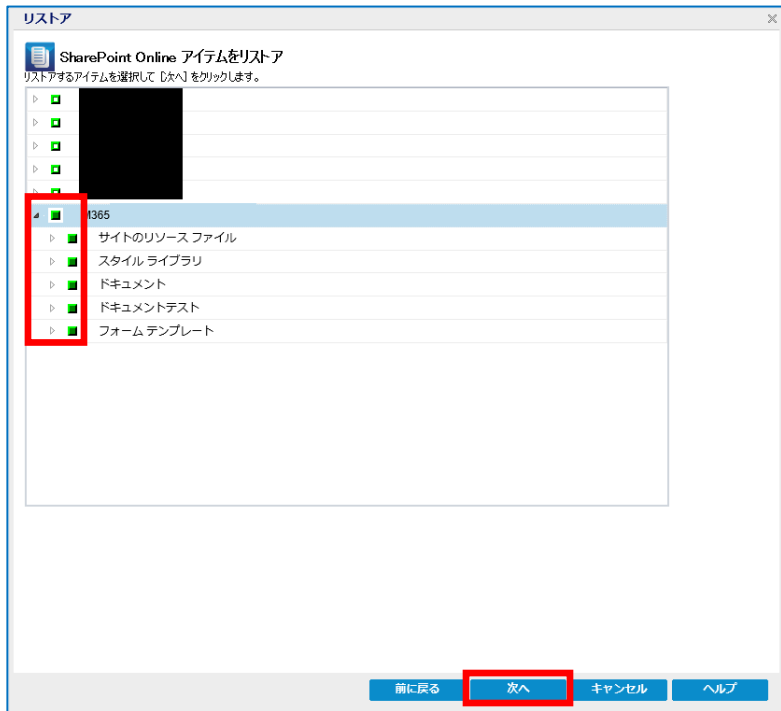


3. [リストア] ダイアログ ボックスが表示されます。

復旧したい時点の復旧ポイントを選択し、[次へ] をクリックします。



4. リストアするコンテンツを選択して [次へ] をクリックします。



5. リストア先の情報を入力し、[次へ] をクリックします。

リストア

リストア オプション

アステネーション

リストア先

認証

リストアするバージョン

1 新規のドキュメントライブラリまたはカスタム リストが常に作成されます。新しい名前は、元の名前とタイムスタンプで、restore_yyyymmdd のように名付けられます。

1 バックアップ時に基本認証が使用されました。

前に戻る **次へ** キャンセル ヘルプ

※ デフォルトではバックアップ時の認証を使用しますが、認証方法を変更する場合は、認証のプルダウンを [新規の認証] に変更し、先進認証 / 基本認証の認証情報を設定します。

リストア

リストア オプション

アステネーション

リストア先

認証

リストアするバージョン

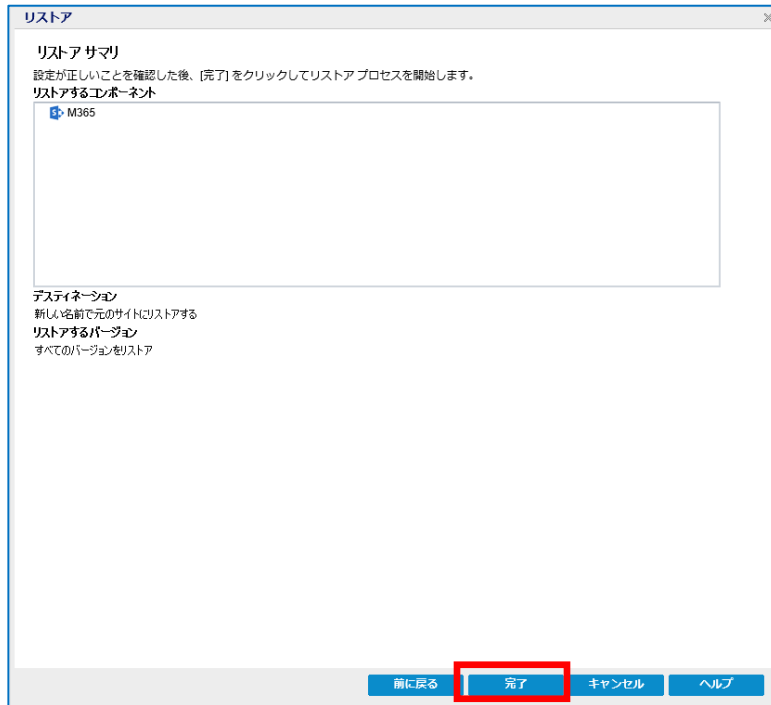
1 新規のドキュメントライブラリまたはカスタム リストが常に作成されます。新しい名前は、元の名前とタイムスタンプで、restore_yyyymmdd のように名付けられます。

先進認証
セキュリティ証明書を使用してリストアを実行します。

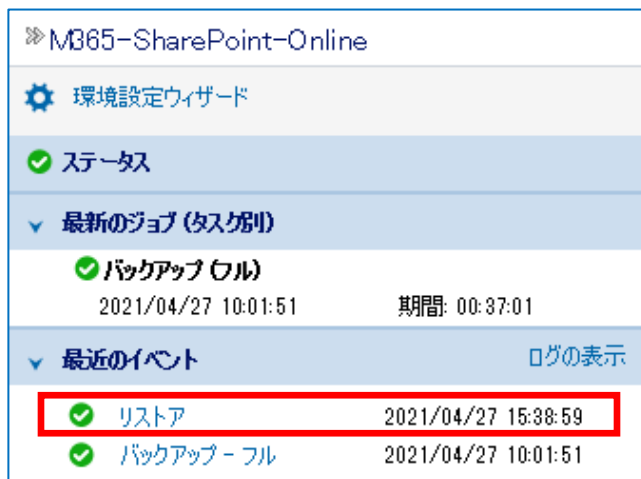
基本認証
ユーザ名とパスワードを使用してリストアします。

前に戻る **次へ** キャンセル ヘルプ

6. リストアサマリを確認し、問題が無ければ [完了] をクリックすると、リストアジョブが開始されます。



7. バックアップジョブのステータスで、リストアが完了していることを確認したら、Microsoft 365 側でリストアしたデータが反映されているか確認してください。



リストアに関する詳細なオプション等については、以下マニュアルをご参照ください。

https://documentation.arcserve.com/Arcserve-UDP/Available/8.0/JPN/Bookshelf_Files/HTML/SolG/UDPSolnGuide/spoint_onln_restore.htm

4. OneDrive のバックアップ & リストア

Microsoft Office 365 クラウド サービスの一部である OneDrive を使用すると、クラウド ストレージおよびファイルの共有が容易になります。Arcserve UDP 7.0 以降では、OneDrive 上のファイルのバックアップ/リストアも行えます。

4.1 前提条件

前提条件の詳細は、以下マニュアルをご参照ください。

OneDrive のバックアップに必要なアカウントについてもマニュアルに記載されています。

https://documentation.arcserve.com/Arcserve-UDP/Available/8.0/JPN/Bookshelf_Files/HTML/SolG/UDPSolnGuide/onedrive_udp_prereq_backup.htm

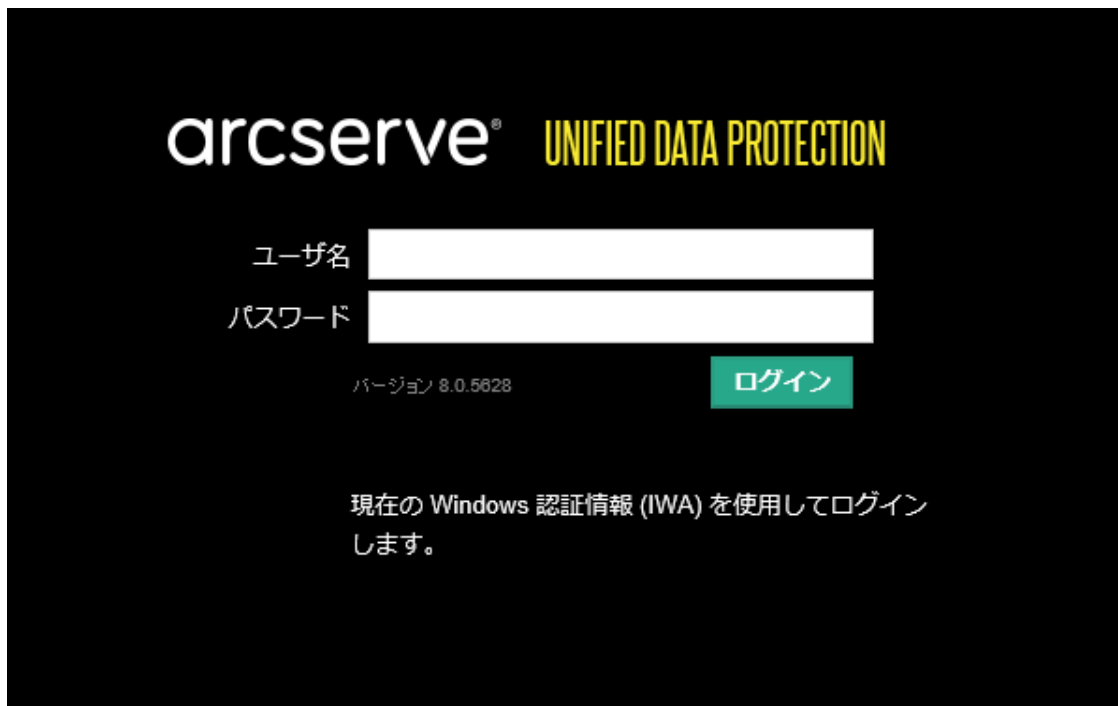
4.2 バックアッププランの作成

バックアップのプラン（設定）を作成します。

バックアップ プランには、OneDrive データ項目（ファイルやフォルダなど）のバックアップを実行するバックアップ タスクが含まれています。

タスクはそれぞれ、ソース、デスティネーション、スケジュール、および他のバックアップ詳細を定義するパラメータから構成されます。

1. コンソール画面に [ユーザ名] と [パスワード] を入力してログインします。



2. [リソース] タブをクリックします。



3. 左ペインから、[プラン] に移動し、[すべてのプラン] をクリックします。
プランを以前に作成している場合、それらのプランが中央ペインに表示されます。



4. 中央のペインで [プランの追加] をクリックします。

The screenshot shows the Arcserve Unified Data Protection console interface. The top navigation bar includes 'ダッシュボード', 'リソース', 'ジョブ', 'レポート', 'ログ', '設定', and 'ハイ アベイラビリティ'. The main content area is titled 'プラン: すべてのプラン'. On the left sidebar, the 'プラン' section is expanded, and 'すべてのプラン' is selected. In the main area, there is a table with columns for 'プラン名', '保護ノード', and 'ステータス'. A red box highlights the 'プランの追加' button in the top right corner of the table area. Below the table, there is a message: '[プランの追加] をクリックして、Arcserve UDP コンソール にプランを追加してください。'

5. [プランの追加] 画面が開きますので、任意の [プラン名] を入力します。

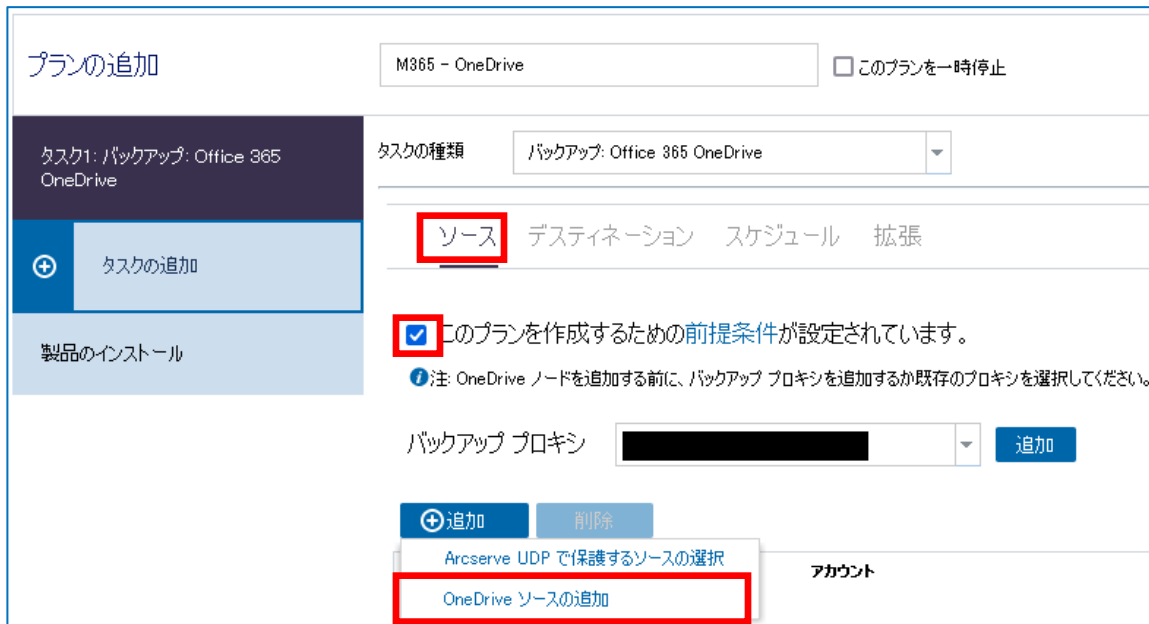
The screenshot shows the 'プランの追加' (Add Plan) form in the Arcserve Unified Data Protection console. The top navigation bar is the same as in the previous screenshot. The main content area is titled 'プランの追加'. There is a text input field for the plan name, which contains 'M365 - OneDrive' and is highlighted with a red box. To the right of this field is a checkbox labeled 'このプランを一時停止'. Below the input field, there is a section for 'タスク1' (Task 1) with a 'タスクの種類' (Task Type) dropdown menu set to 'タスク タイプの選択'. At the bottom left, there is a blue button with a plus sign and the text 'タスクの追加'.

6. [タスクの種類] ドロップダウン リストで、[バックアップ : Office 365 OneDrive] を選択します。



The screenshot shows the Arcserve Unified Data Protection dashboard. At the top, there are navigation tabs: ダッシュボード, リソース, ジョブ, レポート, ログ, 設定, and ハイ アベイラビリティ. Below this is a section titled 'プランの追加' (Add Plan) with a text input field containing 'M365 - OneDrive' and a checkbox labeled 'このプランを一時停止' (Suspend this plan). At the bottom, there is a 'タスクの種類' (Task Type) dropdown menu, which is highlighted with a red box and currently shows 'バックアップ: Office 365 OneDrive'.

7. [ソース] タブの [このプランを作成するための前提条件が設定されています。] にチェックを入れ、バックアップ プロキシ などの必要な情報を設定し、[追加] - [OneDrive ソースの追加] をクリックします。



The screenshot shows the 'Plan Addition' screen with the 'タスクの種類' dropdown set to 'バックアップ: Office 365 OneDrive'. The 'ソース' (Source) tab is selected and highlighted with a red box. Below the tabs, there is a checkbox labeled 'このプランを作成するための前提条件が設定されています。' (Prerequisites are set for creating this plan), which is checked and highlighted with a red box. A note below it says: '注: OneDrive ノードを追加する前に、バックアップ プロキシを追加するか既存のプロキシを選択してください。' (Note: Before adding OneDrive nodes, add a backup proxy or select an existing proxy). There is a 'バックアップ プロキシ' dropdown menu and an '追加' (Add) button. At the bottom, there are buttons for '+追加' (Add) and '削除' (Delete), and a section titled 'Arcserve UDP で保護するソースの選択' (Select sources to protect with Arcserve UDP) with a red box around the 'OneDrive ソースの追加' (Add OneDrive source) option.

8. OneDrive の認証方法を選択します。

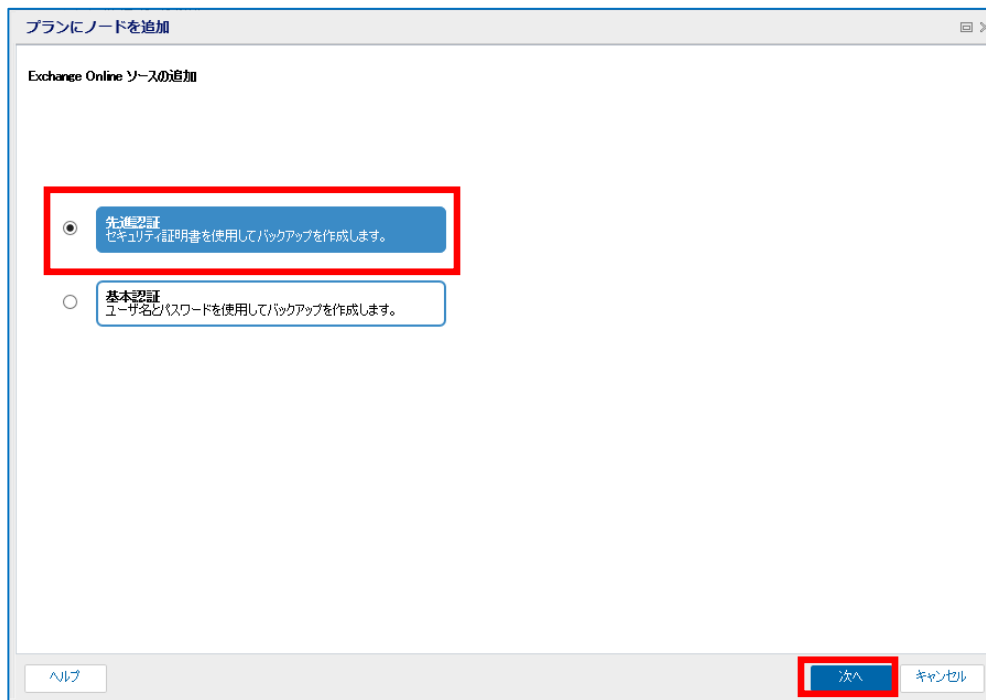
先進認証をご使用いただくにあたり、以下リンクの「前提条件と考慮事項の確認」を確認し、Azure ポータル側での設定を完了させてください。

https://documentation.arcserve.com/Arcserve-UDP/Available/8.0/JPN/Bookshelf_Files/HTML/SolG/default.htm#o365_modern_authentication.htm

以降は事前準備が完了している前提で解説します。

先進認証

[先進認証] にチェックを入れて、[次へ] をクリックします。



※ 詳細な設定手順については、[Exchange Online](#) で解説した[先進認証](#)をご確認ください。

基本認証

[基本認証] にチェックを入れ、任意のノード名とユーザ ID/パスワード([4.1 の前提条件](#)で準備したアカウントを使用)情報を入力し、[接続] をクリックします。

プランにノードを追加

OneDrive ソースの追加

! OneDrive ノードの追加後に、ノード名を変更することはできません。

先進認証
セキュリティ証明書を使用してバックアップを作成します。

基本認証
ユーザ名とパスワードを使用してバックアップを作成します。

ノード名
M365-OneDrive

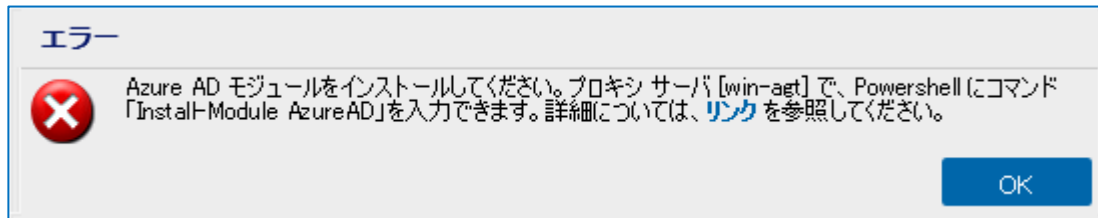
ユーザ ID
[Redacted]

パスワード
[Redacted]

ヘルプ 接続 キャンセル

注意事項 (先進認証・基本認証共通)

Azure AD モジュールがインストールされていない場合、[接続]をクリックしても以下のメッセージが表示されて Azure に接続できません。



Azure AD モジュールは PowerShell を使用してインストールします。

[コマンド]

1. Install-Module -Name MSOnline
2. Install-Module -Name AzureAD

1 と 2 のコマンド実行時に「NuGet プロバイダーが必要」エラーが発生する場合は、PowerShell セッションで TLS1.2 の使用を指定する必要があります。

環境の TLS の状況を確認し、TLS1.2 が使用できるように調整してください。

9. 別タブでブラウザが立ち上がり、Microsoft 365 にログインすると、以下の表示になります。

[必要なアクセス許可] をクリックします。

The screenshot shows the Microsoft 365 application registration page for 'Arcserve_UDP'. The left-hand navigation pane contains several options, with 'APIのアクセス許可' (API permissions) highlighted by a red rectangular box. Other visible options include '概要', 'クイックスタート', '統合アシスタント', '管理', 'ブランド', '認証', '証明書とシークレット', 'トークン構成', 'APIの公開', and 'アプリロール'. The main content area displays basic information for the application, such as the display name 'Arcserve_UDP M365-OneDrive', and includes informational messages about Microsoft ID platform feedback and app registration requirements.

10. [アクセス許可の追加] をクリックします。

The screenshot shows the 'APIのアクセス許可' (API permissions) page for the application. The '+ アクセス許可の追加' (Add permissions) button is highlighted with a red rectangular box. Below this button, there is a table of permissions. The first entry is 'Microsoft Graph (10)'. The page also includes a message about the '同意のプロセス' (consent process) and a list of permissions with their types and descriptions.

API / アクセス許可の名前	種類	説明
> Microsoft Graph (10)		

11. 画面右に [API アクセス許可の要求] が表示されるので、[自分の API] をクリックします。

API アクセス許可の要求

API を選択します

Microsoft API 所属する組織で使用している API **自分の API**

よく使用される Microsoft API

12. 赤枠の[Arcserve_UDP_***]をクリックします。

API アクセス許可の要求

API を選択します

Microsoft API 所属する組織で使用している API 自分の API

アクセス許可を公開するアプリケーションは、以下のとおりです

名前	アプリケーション (クライアント) ID
Arcserve_UDP_ [redacted] OneDrive	[redacted]

13. アクセス許可のチェックを入れ、[アクセス許可の追加]をクリックします。

API アクセス許可の要求

<すべての API

Arcserve_UDP [redacted] OneDrive
https:// [redacted]

アプリケーションに必要なアクセス許可の種類

委任されたアクセス許可
アプリケーションは、サインインしたユーザーとして API にアクセスする必要があります。

アプリケーションの許可
アプリケーションは、サインインしたユーザーなしで、バックグラウンド サービスまたはデーモンとして実行されます。

アクセス許可を選択する すべて展開

🔍 アクセス許可を入力し始めると、これらの結果がフィルター処理されます

📘 "管理者の同意が必要" 列には、組織の既定値が表示されます。ただし、ユーザーの同意は、アクセス許可、ユーザー、アプリごとにカスタマイズできます。この列には、ご自分の組織や、このアプリが使用される組織の値が反映されていない場合があります。 [詳細情報](#)

アクセス許可	管理者の同意が必要
▼ アクセス許可 (1)	
<input checked="" type="checkbox"/> user_impersonation ⓘ Access Arcserve_UDP [redacted] OneDrive	いいえ

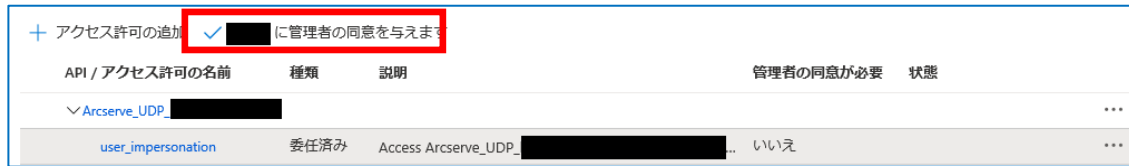
アクセス許可の追加 破壊

14. 以下の表示が出てきたら、アクセス許可ができました。

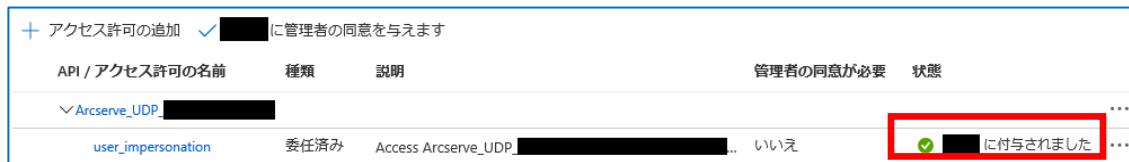
✅ **アクセス許可を更新中** 15:40 ✕

Arcserve_UDP [redacted]
[redacted] M365-OneDrive のアクセス許可が正常に保存されました。

15. 追加したアクセス許可に管理者の同意を与えます。



管理者の同意を与えると、状態タブに付与された内容が表示されます。



16. UDP の設定画面に戻ると、以下の表示になっているので [次へ] をクリックします。



16. デフォルトではすべての OneDrive ソースをバックアップします。

今回はすべての OneDrive ソースをバックアップするので、[保存] をクリックします。

プランにノードを追加

OneDrive アカウントの選択

すべての OneDrive アカウントを保護します。

ユーザ アカウント
グループ

Microsoft 365 分布

セキュリティ 電子メール対応のセキュリティ

アカウント名で検索

アカウント アドレス	アカウント名	タイプ

保護されているアカウント

アカウント アドレス	アカウント名	タイプ

すべてのソース `udpsca.onmicrosoft.com` のメールボックスは保護されています。プランの作成後にソースに追加されたアカウントは、この保護プランに自動的に追加されます。

ログインの変更

ヘルプ

保存 キャンセル

17. OneDrive ソースが追加されたことを確認します。

プランの変更

M365 - OneDrive このプランを一時停止

タスク1: バックアップ: Office 365 OneDrive

タスクの種類 バックアップ: Office 365 OneDrive

ソース デスティネーション スケジュール 拡張

このプランを作成するための前提条件が設定されています。

注: OneDrive ノードを追加する前に、バックアップ プロキシを追加するか既存のプロキシを選択してください。

バックアップ プロキシ 追加

+ 追加 削除

OneDrive ソース	アカウント
M365-OneDrive	

18. [デスティネーション] タブに移動し、復旧ポイントサーバの情報を入力します。

プランの追加 M365 - OneDrive このプランを一時停止

タスクの種類 バックアップ: Office 365 OneDrive

ソース **デスティネーション** スケジュール 拡張

デスティネーションの種類 Arcserve UDP 復旧ポイントサーバ

復旧ポイント サーバ [Redacted]

データストア UDP Backup

パスワードによる保護

19. [スケジュール] タブに移動し、バックアップスケジュールを設定します。

デフォルトでは、毎日 22 時に増分バックアップを行います

プランの追加 M365 - OneDrive このプランを一時停止

タスクの種類 バックアップ: Office 365 OneDrive

ソース デスティネーション **スケジュール** 拡張

タイプ	説明	日	月	火	水	木	金	土	時刻
<input type="checkbox"/>	日次増分バックアップ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	22:00

20. [拡張] タブの設定に問題が無ければ、[保存] をクリックして、プランの作成を完了します。

プランの追加

M365 - OneDrive このプランを一時的に停止

保存 キャンセル ヘルプ

タスクの種類: バックアップ: Office 365 OneDrive

タスクの種類: バックアップ: Office 365 OneDrive

ソース デスティネーション スケジュール **拡張**

OneDrive Online の保護タスクを実行するには、バックアップ前およびバックアップ後のスクリプトがプロキシ サーバ上に存在する必要があります。

バックアップ開始前にコマンドを実行

終了コード: ジョブを続行 ジョブを中止

バックアップ完了後にコマンドを実行

ジョブが失敗した場合でもコマンドを実行

コマンド用ユーザー名

コマンド用パスワード

電子メール アラートの有効化

21. 作成されたプランが、プランの一覧に表示されていることを確認します。

ダッシュボード リソース ジョブ レポート ログ 設定 | ハイ アベイラビリティ

プラン: すべてのプラン

アクション | プランの追加

プラン名	保護モード			ステータス
	合計	成功	失敗	
M365 - OneDrive	1	0	1	展開: 成功 (1)

ノード

- すべてのノード
- プランのないノード
- OneDrive ノード
- プラン グループ
- プラン
 - すべてのプラン
- デスティネーション
 - 復旧ポイント サーバ
 - Arcserve Backup サーバ
 - 共有フォルダ
 - クラウド アカウント
 - リモート コンソール
- インフラストラクチャ
 - ストレージ アレイ
 - インスタント VM
 - サイト
 - SLA プロファイル

22. [手順 19](#) で設定したスケジュールに従い、バックアップされるのを待ちます。

【参考情報】

作成したバックアッププランは、手動でも実行することができます。

通常、バックアップは自動的に実行され、スケジュール設定によって制御されます。スケジュールされたバックアップの他、手動バックアップには、必要に応じてノードをバックアップするオプションがあります。

OneDrive ノード からの実行

[すべてのノード] からバックアップ対象ノードを右クリックし、[今すぐバックアップ] を選択

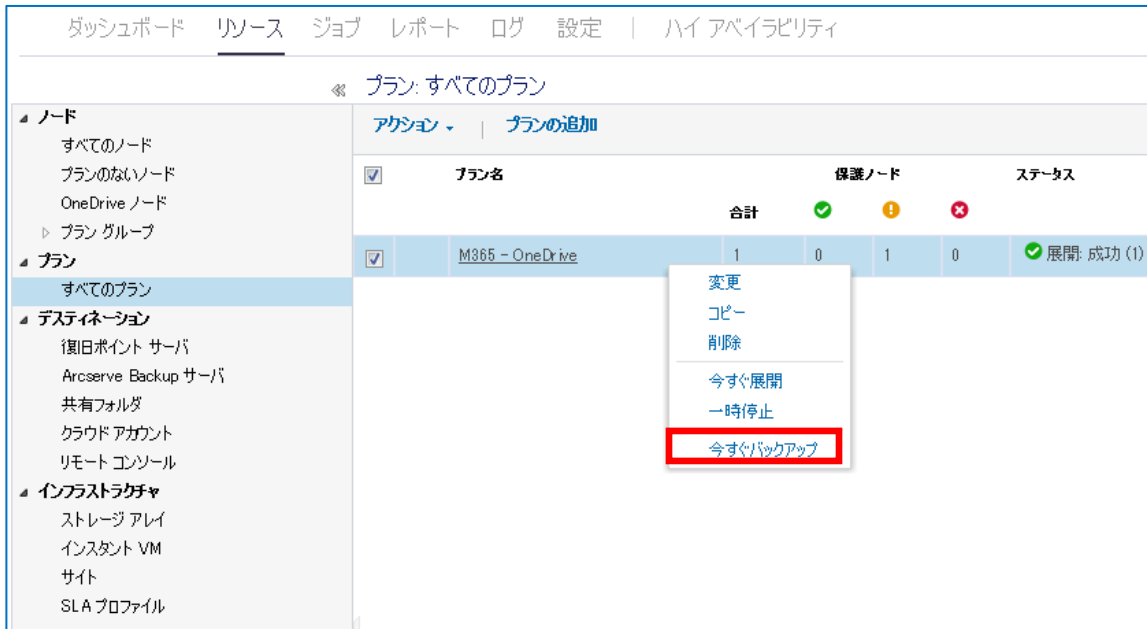
The screenshot shows the Arcserve UDP web interface. At the top, there are navigation tabs: ダッシュボード, リソース, ジョブ, レポート, ログ, 設定, and ハイアベイラビリティ. Below the tabs, the main content area is titled 'ノード: すべてのノード'. On the left, there is a sidebar menu with categories like 'ノード', 'プラン', 'デステイネーション', and 'インフラストラクチャ'. The main table displays a list of nodes with columns for 'ステータス', 'ノード名', 'VM 名', and 'プラン'. One node, 'M365-OneDrive', is selected. A context menu is open over this node, listing various actions. The '今すぐバックアップ' option is highlighted with a red rectangle.

ステータス	ノード名	VM 名	プラン
<input checked="" type="checkbox"/>	M365-OneDrive		M365 - OneDrive
<input type="checkbox"/>	[Redacted]		

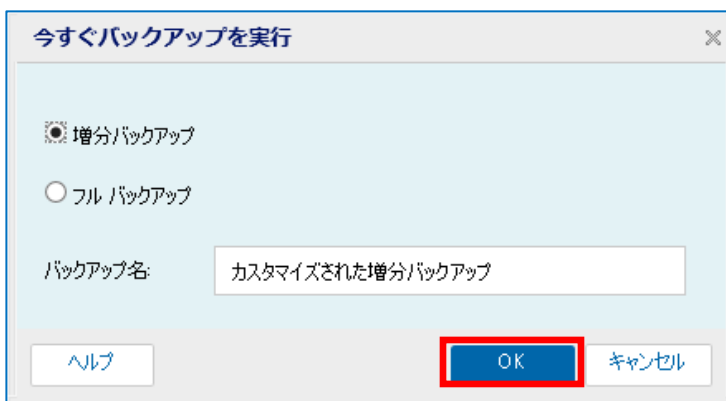
- 削除
- エクスポート
- プランの変更
- エージェントへのログイン
- 診断情報の収集
- 今すぐバックアップ**
- リストア
- 復旧ポイントをクラウドからダウンロード
- 復旧ポイントをクラウドにアップロード
- 復旧ポイントをローカルディスクまたはネットワーク共有にコピー

OneDrive プラン からの実行

[すべてのプラン] からバックアップ対象のプランを右クリックし、[今すぐバックアップ] を選択



[今すぐバックアップを実行] ダイアログ ボックスが開きますので、バックアップタイプ を選択して、必要に応じて、バックアップ名を指定し、[OK] をクリックすると、バックアップジョブが開始されます。

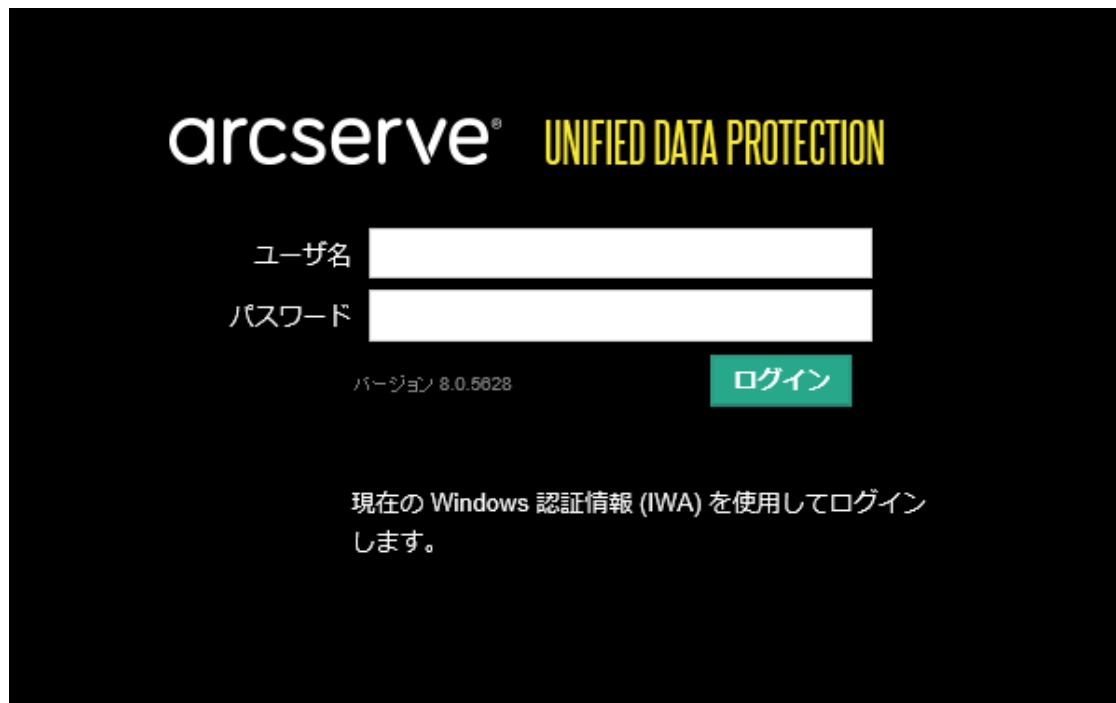


4.3 バックアップデータのリストア

OneDrive データ（ファイルやフォルダなど）をリストアできます。リストア オプションを使用して、OneDrive の元の場所やバックアップデータが保存された復旧ポイント サーバ内にリストアする方法と、[復旧ポイントのマウント] オプションを使用してリストアする方法があります。このガイドでは、リストア オプションを使用した手順を説明します。

【手順】

1. コンソール画面に [ユーザ名] と [パスワード] を入力してログインします。



2. [リソース] タブをクリックします。



3. 左ペインから、[すべてのノード] に移動し、OneDrive のノードを選択して、右クリックから [リストア] を選択します。

ダッシュボード リソース ジョブ レポート ログ 設定 | ハイ アベイラビリティ

ノード: すべてのノード

ノード

- すべてのノード
- プランのないノード
- OneDrive ノード
- プラン グループ
- プラン
 - すべてのプラン
- デステイネーション
 - 復旧ポイント サーバ
 - Arcserve Backup サーバ
 - 共有フォルダ
 - クラウド アカウント
 - リモート コンソール
- インフラストラクチャ
 - ストレージ アレイ
 - インスタント VM
 - サイト
 - SLA プロファイル

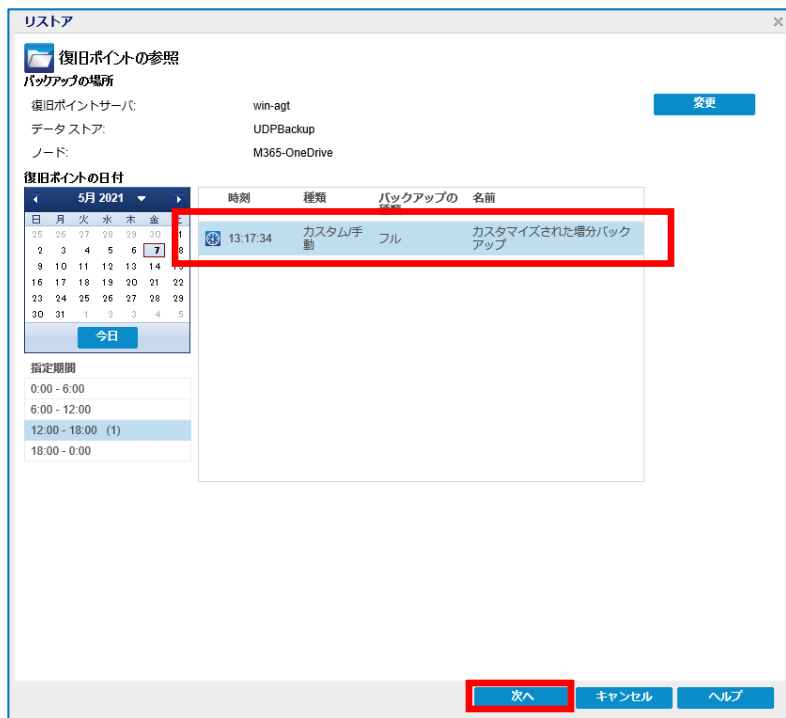
アクション | ノードの追加

ステータス	ノード名	VM 名	プラン
<input checked="" type="checkbox"/>	M365-OneDrive		
<input type="checkbox"/>	[REDACTED]		

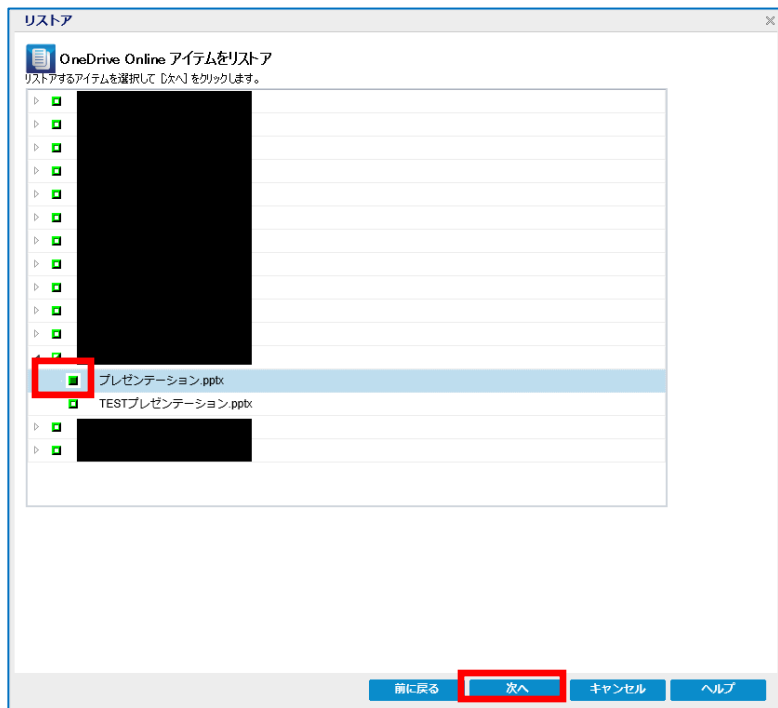
- 削除
- エクスポート
- プランの変更
- エージェント へのログイン
- 診断情報の収集
- 全オンのバックアップ
- リストア**
- 復旧ポイントをクラウドからダウンロード
- 復旧ポイントをクラウドにアップロード
- 復旧ポイントをローカル ディスクまたはネットワーク共有にコピー

4. [リストア] ダイアログ ボックスが表示されます。

復旧したい時点の復旧ポイントを選択し、[次へ] をクリックします。



5. リストアするアイテムを選択して [次へ] をクリックします。



6. リストア先の情報を入力し、[次へ] をクリックします。

リストア

リストア オプション

デスティネーション

リストア先

項目がデスティネーションに存在する場合

認証

バックアップ時に基本認証が使用されました。

前に戻る **次へ** キャンセル ヘルプ

※ デフォルトではバックアップ時の認証を使用しますが、認証方法を変更する場合は、認証のプルダウンを [新規の認証] に変更し、先進認証 / 基本認証の認証情報を設定します。

リストア

リストア オプション

デスティネーション

リストア先

項目がデスティネーションに存在する場合

認証

先進認証
セキュリティ証明書を使用してリストアを実行します。

基本認証
ユーザー名とパスワードを使用してリストアします。

前に戻る **次へ** キャンセル ヘルプ

7. リストア先を確認し、[次へ] をクリックします。

リストア

OneDrive ポータルへのリストア

テナント名

アプリケーションID

アプリケーションパスワード

前に戻る 次へ キャンセル ヘルプ

8. リストアサマリを確認し、問題が無ければ [完了] をクリックすると、リストアジョブが開始されます。

リストア

リストア サマリ

設定が正しいことを確認した後、[完了] をクリックしてリストアプロセスを開始します。

リストアするオブジェクト

- udpca admin
 - プレゼンテーション.pptx

デスティネーション

元の場所にリストアする

項目がデスティネーションに存在する場合
新しいバージョンで復元

前に戻る 完了 キャンセル ヘルプ

9. バックアップジョブのステータスで、リストアが完了していることを確認したら、指定したリストア先にデータが反映されていることを確認します。



» M365-OneDrive	
⚙️ 環境設定ウィザード	
✅ ステータス	
▼ 最新のジョブ (タスク別)	
✅ バックアップフル	
2021/05/07 13:17:34	期間: 00:13:37
▼ 最近のイベント	ログの表示
✅ リストア	2021/05/07 15:02:52
✅ バックアップ - フル	2021/05/07 13:17:34

リストアに関する詳細なオプション等については、以下マニュアルをご参照ください。

<https://documentation.arcserve.com/Arcserve->

[UDP/Available/8.0/JPN/Bookshelf_Files/HTML/SolG/UDPSolnGuide/onedrive_rstore_how_2.htm](https://documentation.arcserve.com/Arcserve-UDP/Available/8.0/JPN/Bookshelf_Files/HTML/SolG/UDPSolnGuide/onedrive_rstore_how_2.htm)

5.Teams のバックアップ & リストア

Arcserve UDP 8.0 から、Exchange Online / SharePoint Online / OneDrive のバックアッププランを使用して Microsoft Teams データをバックアップおよびリストアできます。

バックアップ可能なコンテンツは以下の通りになります。

Teams アイテム	Arcserve UDP のバックアップ対象
1 対 1 のチャット	
予定された会議の記録	OneDrive (ユーザ)
1 対 1 のチャット/投稿/会話	Exchange (ユーザ)
1 対 1 のチャットで送信されたファイル	Exchange (ユーザ) / OneDrive (ユーザ)
Teams 標準チャネル	
チャット/投稿/会話	Exchange (グループ)
チャネルのカレンダー	Exchange (グループ)
チャットで送信されたファイル	SharePoint
[ファイル] タブを使用してアップロードされたファイル/フォルダ	SharePoint
Teams プライベートチャネル	
チャット/投稿/会話	Exchange (ユーザ)
チャットで送信されたファイル	SharePoint / Exchange (ユーザ)
[ファイル] タブを使用してアップロードされたファイル/フォルダ	SharePoint

本章では、「1 対 1 のチャット/投稿/会話」「1 対 1 のチャットで送信されたファイル」「Teams 標準チャネルのチャット/投稿/会話」「Teams 標準チャネルのチャットで送信されたファイル」のバックアップとリストアについてご紹介していきます。

5.1 前提条件

前提条件の詳細は、前項に記載されている [Exchange Online](#)、[SharePoint Online](#)、[OneDrive](#) の前提事項をご参照ください。

5.2 バックアッププランの作成

バックアッププランの作成手順は、前項で説明している Exchange Online、SharePoint Online、OneDrive のバックアッププランの作成手順と同じです。

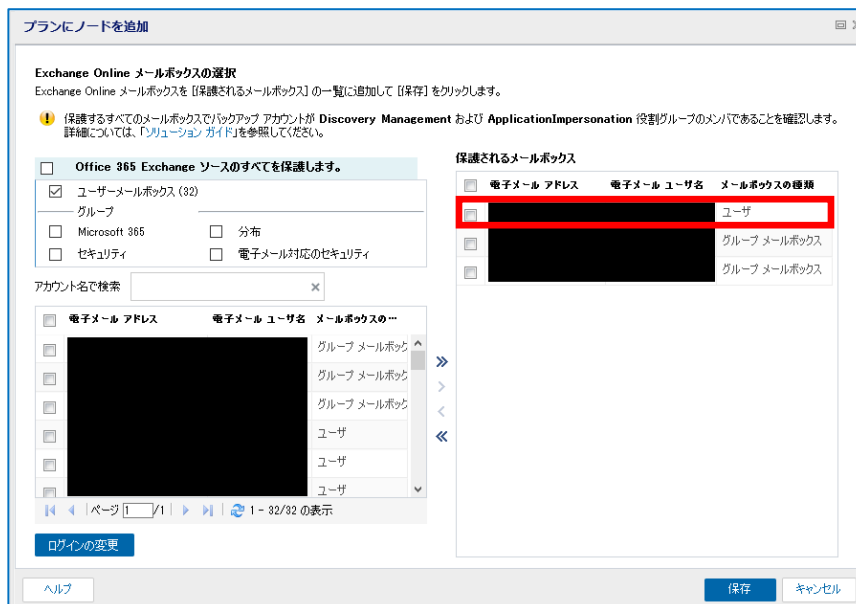
本章では、バックアッププランを作成する際に選択する Teams データの項目についてご紹介します。

[1 対 1 のチャット/投稿/会話]

個人間でやり取りする Teams のチャットメッセージは、Exchange Online のユーザアカウントごとに管理されています。

前項の [Exchange Online のバックアッププランの作成](#) を参照し、対象のアカウントをバックアップしてください。Arcserve UDP の Exchange Online のバックアップでは Teams のメッセージのみを分けてバックアップすることはできません。その他、詳しくは以下のマニュアルをご覧ください。

https://documentation.arcserve.com/Arcserve-UDP/Available/8.0/JPN/Bookshelf_Files/HTML/SolG/default.htm#How_to_Backup_Microsoft_Teams_Messages__Chats__using_Exchange_Online.htm



[1対1のチャットで送信されたファイル]

個人間の Teams チャットで送信されたファイルは、OneDrive のユーザアカウントごとに管理されています。前項の [OneDrive のバックアッププランの作成](#) を参照し、ファイルを送信した対象のアカウントをバックアップしてください。Arcserve UDP の OneDrive のバックアップでは、Teams チャット内の送信ファイルのみを分けてバックアップすることはできません。

[Teams 標準チャンネルのチャット/投稿/会話]

Teams で標準チャンネル(チーム)を作成すると、グループメールボックスが作成され、それに紐づいたグループアカウントが作成されます。チーム内でやり取りした Teams のチャットメッセージは、その Exchange Online のグループアカウントごとに管理されています。

前項の [Exchange Online のバックアッププランの作成](#) を参照し、対象のアカウントをバックアップしてください。Arcserve UDP の Exchange Online のバックアップでは Teams のメッセージのみを分けてバックアップすることはできません。その他、詳しくは以下のマニュアルをご覧ください。

https://documentation.arcserve.com/Arcserve-UDP/Available/8.0/JPN/Bookshelf_Files/HTML/SolG/default.htm#How_to_Backup_Microsoft_Teams_Messages_Chats_using_Exchange_Online.htm

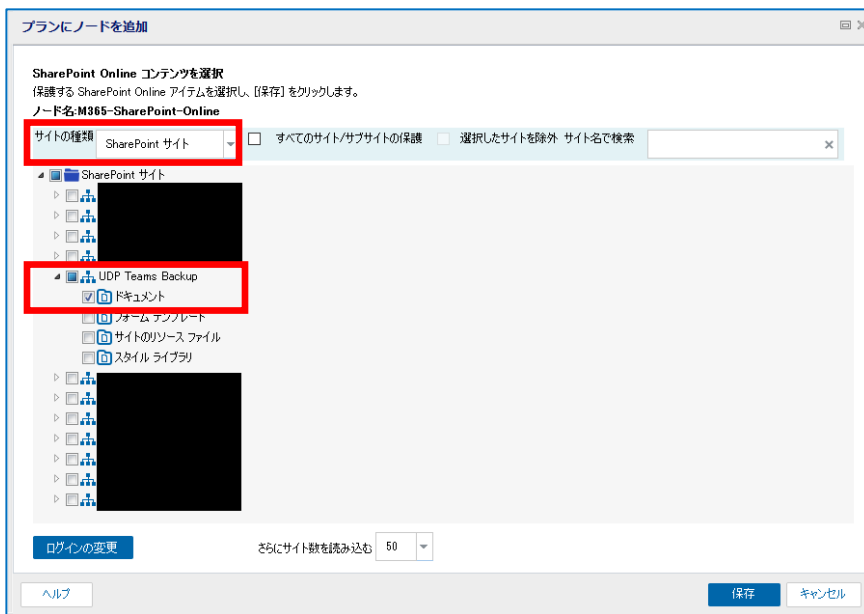


[Teams 標準チャネルのチャットで送信されたファイル]

Teams の標準チャネル(チーム)内でやり取りした送信ファイルは、SharePoint Online のドキュメントライブラリ内で管理されています。

前項の [SharePoint Online のバックアッププランの作成](#)を参照し、対象のサイトのドキュメントライブラリをバックアップしてください。詳しくは以下のマニュアルをご覧ください。

https://documentation.arcserve.com/Arcserve-UDP/Available/8.0/JPN/Bookshelf_Files/HTML/SolG/default.htm#How_to_Backup_Microsoft_Teams_Files_using_Share_Point_Online.htm



5.3 バックアップデータのリストア

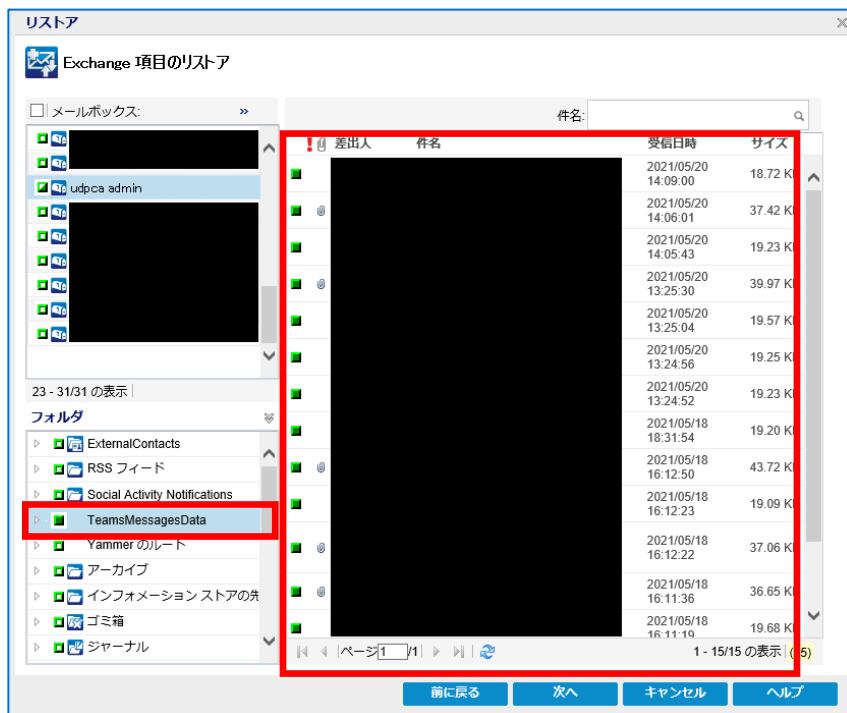
Teams バックアップデータのリストア手順は、前項で説明している Exchange Online、SharePoint Online、OneDrive のバックアップデータのリストア手順と同じです。本章では、リストア時に選択する Teams データの項目についてご紹介します。

[1 対 1、および Teams 標準チャンネルのチャット/投稿/会話]

Exchange Online から取得した復旧ポイントを展開し、各メールボックス内にある [TeamsMessageData] をリストアします。[TeamsMessageData] をクリックすると、メッセージを選択することができます。詳細なリストア手順については、前項の [Exchange Online のバックアップデータのリストア](#) を参照してください。その他、詳しくは以下のマニュアルをご覧ください。

https://documentation.arcserve.com/Arcserve-UDP/Available/8.0/JPN/Bookshelf_Files/HTML/SolG/default.htm#Teams_udpw_how_2_restore_exchangeonline.htm

なお、添付ファイルマークがついたメッセージをリストアしても、添付ファイルはリストアされません。Teams チャット内で送信したファイルのリストア方法は次ページ以降をご覧ください。

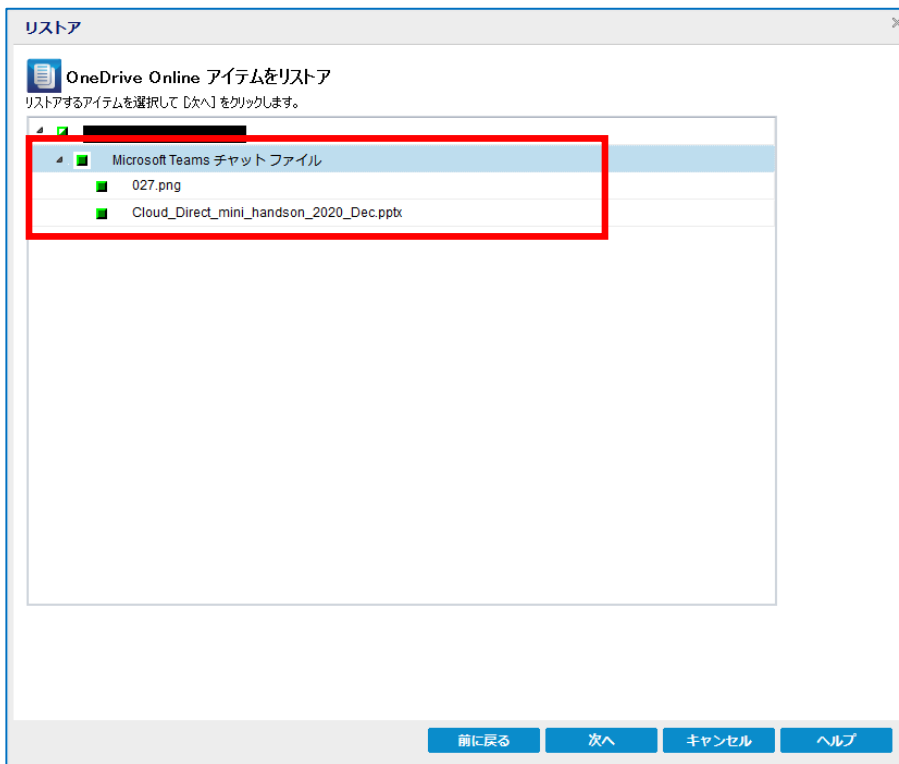


リストア後は、Exchange Online 上からデータをご確認ください。

[1 対 1 のチャットで送信されたファイル]

OneDrive から取得した復旧ポイントを展開し、[Microsoft Teams チャット ファイル] フォルダに格納されたファイルリストアできます。

詳細なリストア手順については、前項の [OneDrive のバックアップデータのリストア](#) を参照してください。

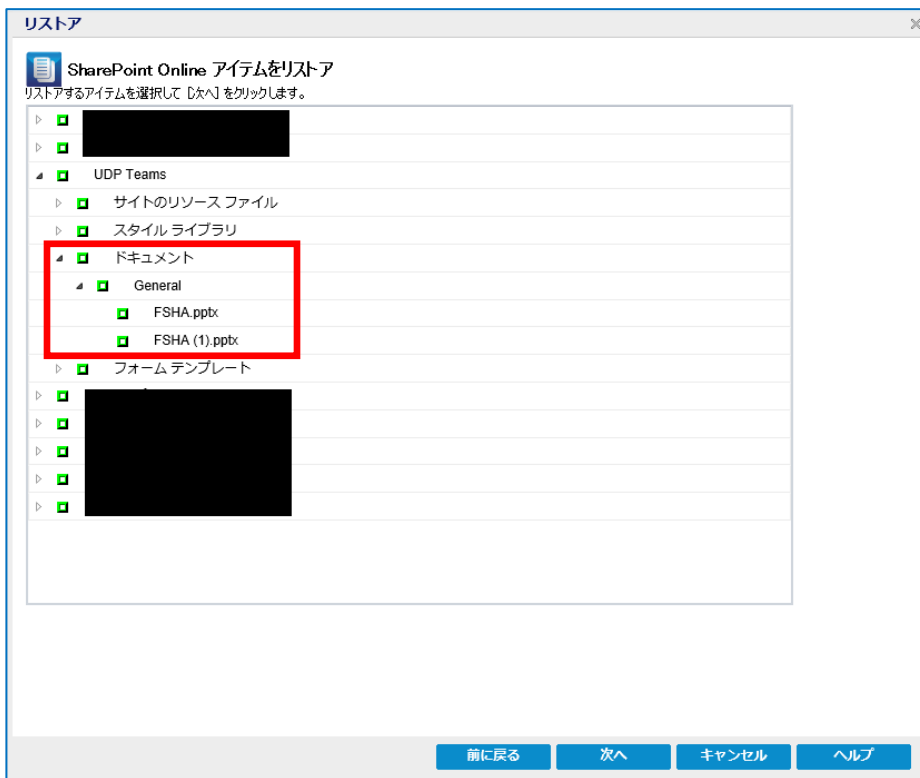


[Teams 標準チャンネルのチャットで送信されたファイル]

SharePoint Online から取得した復旧ポイントを展開し、ドキュメントライブラリ配下 [General] 内にファイルをリストアできます。

詳細なリストア手順については、前項の [SharePoint Online のバックアップデータのリストア](#) を参照してください。その他、詳しくは以下のマニュアルをご覧ください。

https://documentation.arcserve.com/Arcserve-UDP/Available/8.0/JPN/Bookshelf_Files/HTML/SolG/default.htm#Teams_spoin_onln_restore.htm



6. 製品情報とトレーニング情報、および問い合わせ先

製品情報と無償トレーニング情報製品のカタログや FAQ などの製品情報や、動作要件や注意事項などのサポート情報については、ウェブサイトより確認してください。

Arcserve UDP 製品情報および FAQ

Arcserve シリーズポータルサイト:

<https://www.arcserve.com/jp/>

Arcserve UDP 8.x 動作要件:

<https://support.arcserve.com/s/article/Arcserve-UDP-8-0-Software-Compatibility-Matrix?language=ja>

Arcserve UDP 8.x 製品ドキュメント:

<https://support.arcserve.com/s/article/Arcserve-UDP-8-0-Documentation?language=ja>

Arcserve UDP のサポート FAQ:

<https://support.arcserve.com/s/article/205002865?language=ja>

Arcserve UDP 8.x 注意/制限事項:

<https://support.arcserve.com/s/article/2021032301?language=ja>

Arcserve UDP 8.x ダウンロード情報

<https://support.arcserve.com/s/article/Arcserve-UDP-8-0-Solutions-Patches?language=ja>

Arcserve UDP Cloud Hybrid 製品情報および FAQ

Arcserve UDP Cloud Hybrid 動作要件:

<https://support.arcserve.com/s/article/ARCSERVE-UDP-CLOUD-HYBRID-SOFTWARE-COMPATIBILITY-MATRIX?language=ja>

Arcserve UDP Cloud Hybrid 製品ドキュメント:

<https://support.arcserve.com/s/article/Arcserve-Cloud-Hybrid-Product-Documentation?language=ja>

Arcserve UDP Cloud Hybrid のよくある質問:

<https://www.arcserve.com/wp-content/uploads/2019/08/uch-faq.pdf>

Arcserve UDP Cloud Hybrid 注意/制限事項:

<https://support.arcserve.com/s/article/2019082201?language=ja>

トレーニング情報

半日で機能を速習する Arcserve シリーズの無償ハンズオン(実機)トレーニングを毎月実施しています。

どなた様でもご参加いただけますので、この機会にご活用ください。

(注：競業他社の方はお断りしております。)

<https://www.arcserve.com/jp/jp-resources/seminar/>

お問い合わせ

本ガイドに関するご質問やお問い合わせ、製品ご購入前のお問い合わせは[ジャパン ディレクト](#)までご連絡ください。

Arcserve ジャパン・ダイレクト連絡先

フリーダイヤル：0120-410-116

E-mail：JapanDirect@arcserve.com

営業時間：平日 9:00～17:30 ※土曜・日曜・祝日・弊社定休日を除きます。